

朝霞市博物館要覧

第8号

平成22年度・23年度

朝霞市博物館

パンフレット



ギャラリー展示
野火止用水の散策 (3市)
平成22年5～7月開催



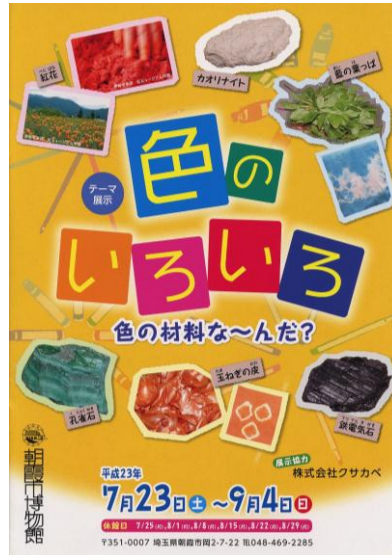
テーマ展示
身近な生き物さがし
平成22年7～8月開催



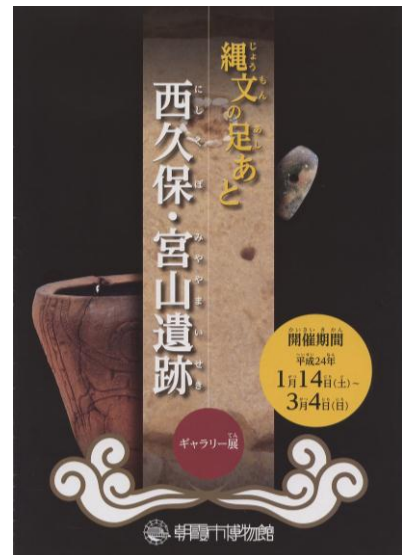
ギャラリー展示
重要文化財旧高橋家住宅
保存修理の記録
平成22年12～平成23年1月開催



ギャラリー展示
遊覧飛行あさかIV
～朝霞町を空からみると～
平成23年4～7月開催



テーマ展示
色のいろいろ
～色の材料な～んだ～
平成23年7～9月開催



ギャラリー展示
縄文の足あと
西久保・宮山遺跡
平成24年1～3月開催

ごあいさつ

朝霞市博物館は、郷土の歴史を語るさまざまな文化財を収集・保存し活用を図る生涯学習の場として、平成9年2月に開館しました。

以来14年、常設展示・企画展示を中心とした展示事業、講座・体験学習からなる教育普及事業などの各種事業を展開してきました。

本書では平成22年度及び23年度の事業を総括し、要覧第8号として発刊させていただきます。当館の活動について、皆様にご理解をいただく一助となれば幸いです。

開館以来、当館の事業運営にご支援、ご協力を賜りました多くの方々に心から御礼申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成25年3月

朝霞市博物館長

目 次

1. 沿革	6
2. 常設展示の概要	9
(1) 導入	
(2) 考古分野 — 「遺跡が語る朝霞」	
(3) 歴史分野 — 「陸の道 水の道」	
(4) 民俗分野 — 「水となりわい」	
(5) 美術・工芸分野 — 「朝霞の美術・工芸」	
(6) 資料紹介コーナー等	
(7) 展示室概略図	
3. 展示・教育普及事業	12
(1) 平成22年度	
(2) 平成23年度	
(3) 博学連携	
(4) 博物館学芸員実習	
(5) 利用統計	
4. 資料収集・保存事業	29
(1) 資料の収集及び活用	
(2) 収蔵資料の保存・修復事業	
(3) 収蔵資料数	
5. 調査研究事業	31
6. 委 員	32
(1) 朝霞市博物館協議会委員	
(2) 朝霞市博物館資料評価委員	
7. 刊行物	33
8. 資 料	37
(1) 朝霞市博物館資料収集方針	
(2) 朝霞市博物館資料評価委員及び資料評価会議開催に関する要項	
(3) 朝霞市博物館学芸員実習生受入実施要項	
(4) 朝霞市県展作品展開催要項	
(5) 朝霞市博物館条例・朝霞市博物館管理規則	
(6) 利用案内	
(7) 博物館全体図	
(8) 博物館平面図	

1. 沿革

平成	元年	8月	健康増進センター及び郷土資料館（仮称）検討委員会設置
平成	2年	1月	（仮称）郷土資料館建設用地取得
平成	3年	4月	資料館設立準備室設置
		7月	朝霞市資料館建設審議会設置
平成	4年	3月	朝霞市資料館基本計画（1）策定
平成	5年	3月	朝霞市資料館基本計画（2）策定
平成	6年	4月	資料館から博物館構想へ
平成	7年	1月	建築設計・展示設計業務委託完了
		5月	建築工事着工
		12月	展示工事着工
平成	8年	7月	建設工事完了
平成	9年	1月	展示工事完了
		2月	朝霞市博物館開館・記念式典 朝霞市博物館条例施行
		3月	朝霞市博物館協議会設置
		5月	向山遺跡出土「鉄斧」特別公開
		10月	朝霞市市制施行30周年記念事業「郷土の伝統芸能」開催 第1回企画展「あさかの弥生文化」開催
平成10年	4月		第2回企画展「獅子の芸能と信仰」開催
	5月		朝霞市博物館協議会開催
	6月		博物館法に基づく博物館登録原簿に登録される
	10月		第3回企画展「風と浪漫の情景－池田幹雄展－」開催
平成11年	2月		朝霞市博物館協議会開催
	3月		常設展示考古分野・歴史分野の一部展示替え
	4月		第4回企画展「極楽往生を願って」開催
	7月		朝霞市博物館協議会開催
	9月		朝霞市博物館資料収集方針策定 朝霞市博物館資料評価委員及び会議開催に関する要項施行
	10月		朝霞市博物館資料評価委員委嘱 第5回企画展「盃のある風景」開催
平成12年	2月		常設展示美術・工芸分野の一部展示替え
	3月		第6回企画展「川と人々の暮らし」開催
	6月		特定展示「第44回埼玉県名刀展－戦国時代の刀－」開催 （埼玉県教育委員会・埼玉県刀剣保存協会 共催）
	10月		第7回企画展「祈り・願い・想い－朝霞の絵馬－」開催 朝霞市博物館協議会開催
	12月		常設展示民俗分野の一部展示替え
平成13年	2月		登録美術品特別公開「モネとドラクロワ」開催 朝霞市博物館協議会開催
	3月		第8回企画展「なつかしのおもちゃ」開催
	10月		第9回企画展「旅－道中日記の世界－」開催 朝霞市博物館協議会開催
平成14年	1月		常設展示考古分野の一部展示替え 特定展示「収蔵品展」開催

- 3月 朝霞市市制施行35周年・朝霞市博物館開館5周年記念
第10回企画展「富士と桜ー富士美術館コレクションー」開催
朝霞市博物館協議会開催
- 7月 特定展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会協賛）
特定展示「埼玉の化石展」開催（共催：埼玉県立自然史博物館）
- 9月 朝霞市博物館協議会開催
- 10月 第11回企画展「縄文土器の世界」開催
- 平成15年 1月 特定展示「収蔵品展」開催
2月 朝霞市博物館協議会開催
3月 第12回企画展「朝霞と鉄道」開催
7月 特定展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会）
特定展示「『石』とあそぼう！埼玉の岩石と鉱物」
開催（共催：埼玉県立自然史博物館）
常設展示歴史分野の一部展示替え
- 10月 第13回企画展「朝霞の学校給食」開催
- 11月 朝霞市博物館協議会開催
- 平成16年 1月 特定展示「収蔵品展ー鷹と水車ー」開催
2月 朝霞市博物館協議会開催
3月 第14回企画展「ニッポンノキレイー丸沼芸術の森コレクションと朝霞の
工芸作家たちー」開催（丸沼芸術の森共催、社団法人日本工芸会後援）
7月 特定展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会）
特定展示「埼玉の希少野生植物ーみつめてみよう！みどりのなかまたち
ー」開催（共催：埼玉県立自然史博物館）
- 10月 第15回企画展「古のにひくらー朝霞市・新座市・志木市・和光市出土品
展ー」開催（共催：新座市教育委員会・志木市教育委員会・和光市教育委
員会）
朝霞市博物館協議会開催
- 平成17年 1月 特定展示「収蔵品展ー朝霞の消防団ー」開催
3月 朝霞市博物館協議会開催
第16回企画展「鎧ー伊澤昭二コレクションとともにー」開催
7月 特定展示「外来生物ー人に運ばれた生き物ー」開催
9月 特定展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会）
- 10月 第17回企画展「広沢郷の時代ー中世の朝霞を探るー」開催
- 11月 朝霞市博物館協議会開催
- 平成18年 1月 テーマ展示「収蔵品展ーあったかい道具と昔の暮らしー」開催
※特定展示をテーマ展示に名称変更する（博物館協議会の答申による）。
2月 朝霞市博物館協議会開催
常設展示映像機器システム変更
3月 第18回企画展「日本のカメラ今昔物語」開催
7月 テーマ展示「つくろう自然のコレクション」開催
9月 テーマ展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会）
- 10月 第19回企画展「雅楽ー音・舞・技ー」開催
- 11月 朝霞市博物館協議会開催
- 平成19年 2月 朝霞市博物館協議会開催
朝霞市博物館開館10周年記念登録美術品特別公開「モネとドラクロワ」
開催（共催：丸沼芸術の森 協力：埼玉県立近代美術館）
3月 第20回企画展「埴輪の世界」開催

- 7月 テーマ展示「再発見！身近な木」開催
- 9月 テーマ展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会協賛）
- 平成20年 10月 第21回企画展『「もんじょ」と「ぶんしょ」－古文書解読と記録保存－』開催
- 11月 朝霞市博物館協議会開催
- 12月 常設展示（民俗分野）展示替え
- 平成20年 2月 朝霞市博物館協議会開催
- 3月 テーマ展示『収蔵品展「新聞－報道から記録へ－」』開催
- 第22回企画展「描かれた朝霞－絵図・地図に見る郷土の風景－」開催
- 7月 テーマ展示「黒目川・新河岸川の生き物」開催
- 9月 テーマ展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会協賛）
- 10月 第23回企画展「平安王朝－源氏物語の時代－」開催（後援：源氏物語千年紀委員会）
- 11月 朝霞市博物館協議会開催
- 平成21年 2月 朝霞市博物館協議会開催
- 7月 テーマ展示「石－地球のかげら－」開催（共催：埼玉県立自然の博物館）
- 9月 テーマ展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会協賛）
- 10月 第24回企画展「邪馬台国時代の朝霞－土器が語る交流の時代－」開催
- 11月 朝霞市博物館協議会開催
- 平成22年 2月 朝霞市博物館協議会開催
- 2月 テーマ展示「丸沼芸術の森25周年記念－所蔵コレクション展－」開催（共催：丸沼芸術の森）
- 7月 テーマ展示「身近な生き物さがし」開催
- 9月 テーマ展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会協賛）
- 10月 第25回企画展「絵で遊ぶ 絵が遊ぶ～ゲームもニュースも浮世絵で～」開催
- 11月 朝霞市博物館協議会開催
- 平成23年 2月 朝霞市博物館協議会開催
- 7月 テーマ展示「色のいろいろ～色の材料な－んだ？～」開催
- 9月 テーマ展示「朝霞市県展作品展」開催（協賛：朝霞市美術協会協賛）
- 10月 第26回企画展「鷹狩りと朝霞」開催
- 11月 朝霞市博物館協議会開催
- 平成24年 2月 朝霞市博物館協議会開催

2. 常設展示の概要

当館の展示室では、考古、歴史、民俗、美術・工芸の4つの分野を柱として展示を行っている。展示方法は、各時代の流れに沿って展示する通史展示ではなく、分野ごとに独立したテーマを設け朝霞の特色を示すエポック展示を行っている。

(1) 常設展示室導入部

- ・朝霞マップ（航空写真）
- ・朝霞の自然（映像）

(2) 考古分野「遺跡が語る朝霞」

<平成14年1月～>

- ・復元住居（古墳時代）
- ・朝霞の遺跡（遺跡分布地図模型）
- ・煮る、盛る、貯える—縄文時代の土器
- ・弥生時代の道具—弥生時代の土器・石器
- ・朝霞の古墳時代
- ・土器パズル
- ・お話ポール（音声）
- ・銅鐸をならしてみよう（体験）
- ・なるほど歴史館（パソコンクイズ）

(3) 歴史分野「陸の道 水の道」

<平成15年7月～>

- ・膝折宿本陣
- ・膝折宿の様子
- ・新河岸川の舟運
- ・河岸場の様子（模型）
- ・東上線の開通
- ・朝霞の近代史
- ・戦時下の朝霞
- ・川越街道道中双六（クイズ）
- ・舟運クイズ
- ・お話しポール（音響）
- ・東武東上線すごろく（クイズ）

(4) 民俗分野「水となりわい」

<平成19年12月～>

- ・朝霞の水車の歴史
- ・伸銅工業のすべて
- ・銅製品
- ・むかしのくらし
- ・水車による伸銅—圧延（模型）
- ・水車動力伝達のしくみ装置（模型）
- ・水車による伸銅—熔解～仕上げ（模型）

(5) 美術・工芸分野「朝霞の美術・工芸」

<平成23年12月～ >

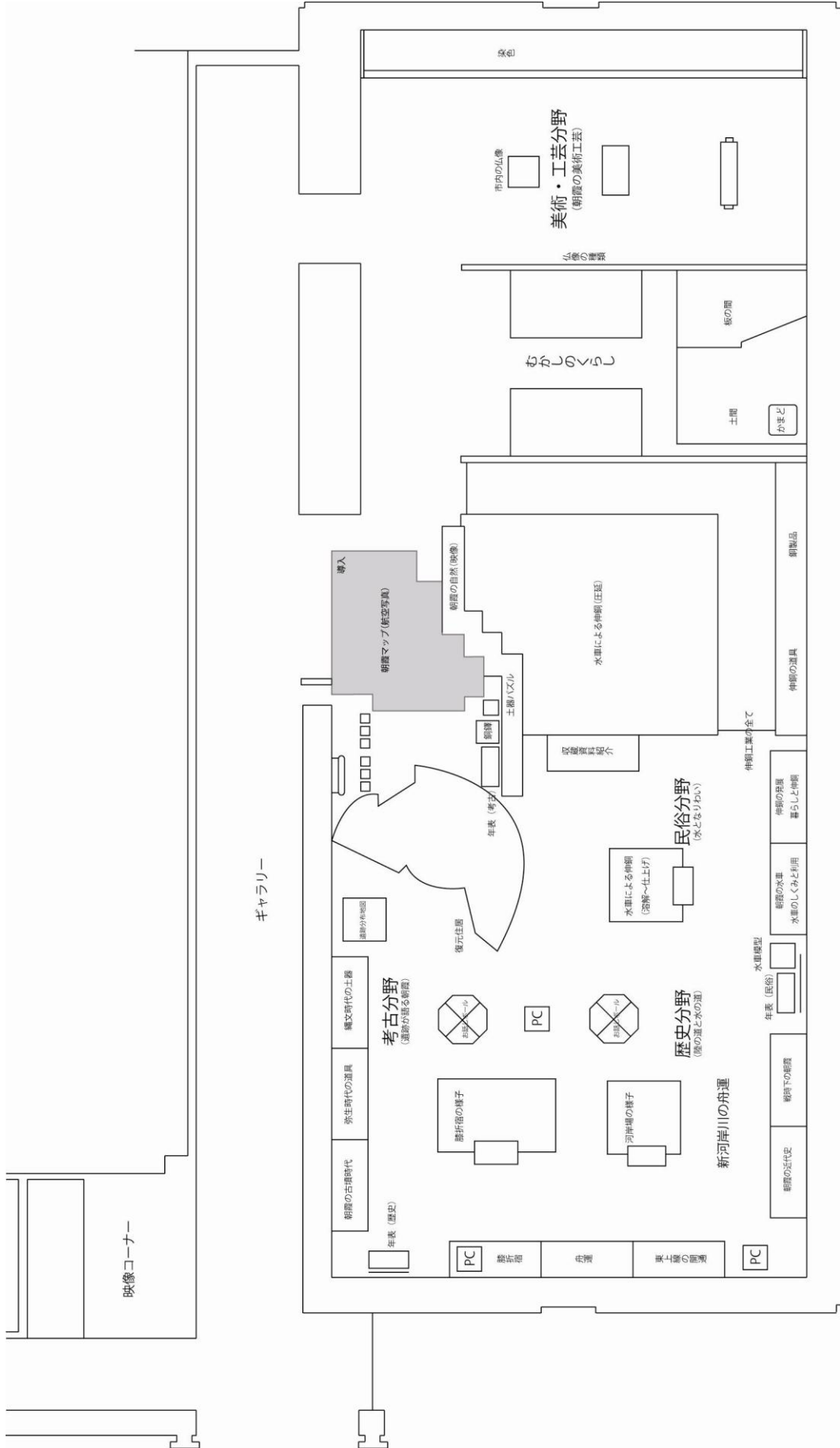
- ・仏像のいろいろ
- ・仏像の種類
- ・染色一染付型紙と浴衣
- ・鐘の音を聞こう (映像・音声)

(6) その他

- ・映像コーナー…展示の導入・補完となるようなプログラムで朝霞のことを紹介している。
 - 1 「朝霞市の生い立ち」 (約4分)
 - 2 「朝霞 歴史の道」 (約9分)
 - 3 「朝霞の四季と年中行事」 (約4分)
 - 4 「朝霞の湧水」 (約3分)
 - 5 「伸銅のはじまり」 (約3分)
 - 6 「八郎右衛門願い出る」 (約7分)
- ・収蔵資料紹介コーナー…展示室では、常設展示のテーマとは別に、収蔵資料の紹介コーナーを設けている (不定期開催)。
- ・生体展示…ラウンジ前の廊下では、水槽を設置し水生生物を飼育、紹介している。また、夏季には玄関にてカブトムシ (当館飼育) の展示を行っている。
- ・講座・体験教室関連展示…講座や体験教室と関連した小規模展示を行った。

平成22年度	博物館体験教室関連展示	「ワタから糸へ」【玄関】
	伝統文化体験講座関連展示	「木目込み人形」【玄関】
平成23年度	博物館体験教室関連展示	「ワタから糸へ」【玄関】

(7) 展示室概略図



3. 展示・教育普及事業

(1) 平成22年度

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数(人)
第25回企画展	第25回企画展 「絵で遊ぶ 絵が遊ぶ ～ゲームも ニュースも 浮世絵で～」	——	10月9日(土) ～11月23日(火)	6,714
	講演会 「江戸の町で 浮世絵を買う」	一般	10月23日(土) 午後2時～3時30分 中央大学 教授 鈴木 俊幸氏	26
	講演会 「浮世絵の 楽しみかた色々 ～切って、笑って、 組み立てて～」	一般	11月7日(日) 午後2時～3時30分 たばこと塩の博物館 学芸員 湯浅 淑子氏	28
	おとな組上げ絵教室 『『五大力組上げ とうろふ』に挑戦!』	一般	10月28日(木) 午後1時30分 ～3時30分 イラストレーター 村上 優枝氏	8
	子ども組上げ絵教室 『『おみこし』に 挑戦!』	小学 4～6 年生	11月13日(土) 午後1時30分 ～3時30分 イラストレーター 村上 優枝氏	13
	体験コーナー 「双六であそぼう」 [4回]	どなた でも	①10月17日(日) ②11月14日(日) ③11月21日(日) ④11月23日(火) 午後1時～4時 当館学芸員 伊藤 麻紀子	① 10 ② 23 ③ 24 ④ 16 のべ73
テーマ 展示	身近な生き物がし	——	7月17日(土) ～8月31日(火)	10,394
	朝霞市県展作品展	——	9月12日(日) ～9月26日(日) ※内覧会9月11日(土) 協賛：朝霞市美術協会 *展示作品数25点 *ギャラリートーク13回開催	4,480 ギャラリートーク のべ134

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数(人)
野火止用水の散策 —新座市・志木市・朝霞市—	別称「伊豆殿堀」ともいわれ、玉川上水から新河岸川に注ぐ生活用水堀であった野火止用水にスポットを当て、昨年度(都内編)に引き続き、新座市・志木市・朝霞市の現況を写真パネルで紹介した。	——	5月1日(土) ～7月4日(日)	8,257
身近な生き物さがし	同時開催のテーマ展示と関連した事項を、写真パネルで紹介した。	——	7月17日(土) ～8月31日(火)	10,394
みんなあーちすと —MY ONLY DOOR—	ドアを開けると作者の世界が広がるというコンセプトで、自由に自己を表現した。制作及び展示は、一般の部と市内保育園・幼稚園の部に分けて行った。	——	9月4日(土) ～9月26日(日) *展示作品数 1,518点 一般 467点 保育園幼稚園 1,051点	5,593
みんなあーちすと —MY ONLY DOOR— 作品制作 ワークショップ 〔25日間〕	来館者が自由に作品づくりを行えるワークショップを実施し、週替わりで絵画技法体験プログラムを行った。 ①ぼかし絵 ②スタンプ ③吹き絵 ④モザイク ⑤とびだすしかけ	どなたでも (おおむね5才以上・小学生中心)	7月27日(火) ～8月28日(土) ①7/27～8/1 5日間 ②8/3～8/10 5日間 ③8/11～8/15 5日間 ④8/17～8/21 5日間 ⑤8/22～8/28 5日間 制作指導(臨時職員): 埼玉県立新座総合技術高等学校デザイン専攻科学生	① 204 ② 270 ③ 163 ④ 155 ⑤ 209 のべ 1,001
「重要文化財 旧高橋家住宅」 保存修理の記録	平成17年度から20年度にかけて行った重要文化財旧高橋家住宅の保存修理について、修理中の写真を中心に紹介し、文化財保護への関心を高める機会とした。	——	12月4日(土) ～平成23年 1月30日(日)	5,531
講演会 「旧高橋家住宅の保存修理～文化財を未来へ伝える～」	旧高橋家住宅の保存修理の過程を具体的に紹介しながら、文化財の保存について解説し、文化財保護の普及につとめた。	一般	12月11日(土) 午後1時30分～3時 文化財課文化財保護係 主任 三井田 章吾	15
歴史講座 前期 「朝霞・陸の道と水の道」 〔連続3回〕	当館常設展示でも紹介している「陸の道」「水の道」について解説し、江戸時代から今につながる朝霞の交通事情について学習し、郷土の歴史への造詣を深める一助とした。 ①陸の道～東武東上線の開通 ②水の道～新河岸川の舟運 ③陸の道～川越街道と宿場町	一般	①5月22日(土) 立教大学 教授 老川 慶喜 氏 ②6月5日(土) ふじみ野市立 上福岡歴史民俗資料館 元館長 高木 文夫 氏 ③6月19日(土) ふじみ野市立 上福岡歴史民俗資料館 学芸係長 原口 雅樹 氏 午後1時30分 ～3時30分	① 51 ② 45 ③ 45 のべ 141

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
歴史講座	後期 「四季の事件簿」 〔連続4回〕	春夏秋冬それぞれの季節で起こった事件（出来事）が、その後の日本史にどのような影響を与えたのか。歴史・文学など様々な分野から学習する。 ①夏 渡来人の住むところ ～霊亀2年高麗郡置かれる～ ②冬 名残の雪に死す ～将軍・歌人としての源実朝～ ③春 お花見はどこです？ ～花は桜木、花見は飛鳥山～ ④秋 キネトスコープが やってきた！ ～映画事始め～	一般	①平成23年 1月29日(土) 埼玉県立 歴史と民俗の博物館 主任学芸員 加藤 かな子 氏	① 45
				②2月5日(土) 川村女子学園大学 教授 今関 敏子 氏	② 34
				③2月12日(土) 北区飛鳥山博物館 学芸員 久保 埜 企美子 氏	③ 37
				④2月19日(土) 早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 助手 上田 学 氏 午後2時～3時30分	④ 27 のべ 143
古文書講座	前期 「初級編」 〔連続3回〕	初心者を対象に、古文書の読み解き方を学習しながら、史料により地域の歴史を学ぶ機会とした。 テキスト：「憲教類典」殺生乃部（国立公文書館内閣文庫所蔵資料）	一般	①6月20日(日) ②6月27日(日) ③7月4日(日) 午前10時～正午 國學院大學 講師 宮原 一郎 氏	① 33 ② 34 ③ 37 のべ 104
	後期 「中級編」 〔連続3回〕	古文書を読み解きながら地域の歴史を学ぶ機会とする。学習レベルの上昇した市民のために、より高度な学習内容を提供した。 テキスト：奥住家文書〔朝霞市指定文化財〕（当館所蔵資料）	一般	①平成23年 2月20日(日) ②2月27日(日) ③3月6日(日) 午前10時～正午 國學院大學 講師 宮原 一郎 氏	① 24 ② 22 ③ 20 のべ 66
くらしと文化の講座 「それは明治に 始まった！」 〔連続4回〕		今につながる様々なものの多くが明治時代に始まっている。それらがどのように始まり、暮らしに根ざしたのかを学習した。 ※東日本大震災の影響により、 ③④は中止。 ①近代教育を支えた教科書 ②「円」誕生！ ③電気、家に来る ④明治を作った男 山岡鉄舟	一般	①平成23年 2月26日(土) 東京書籍附設東書文庫 館長 上野 健次郎 氏 ②3月5日(土) 日本銀行 貨幣博物館 学芸員 関口 かをり 氏 ③3月12日(土) 国立科学博物館 研究主幹 前島 正裕 氏 ④3月19日(土) 全生庵 住職 平井 正修 氏 午後2時～3時30分	① 28 ② 30 ③ 中止 ④ 中止 のべ 58
伝統文化体験講座	「落語」 〔連続5回〕	日本独自の話芸「落語」を、歌舞伎との関係を中心にしながら実際に噺を聞いたり基本的な表現の要素などを体験して学び、伝統文化としての意義について理解を深める機会とした。	一般	①11月18日(木) ②11月25日(木) ③12月2日(木) ④12月9日(木) ⑤12月16日(木) 午後1時30分 ～3時30分 落語家 桂 文ぶん 氏	① 44 ② 46 ③ 38 ④ 47 ⑤ 52 のべ 227

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
伝統文化体験講座	「木目込み人形」 [3回]	伝統文化である木目込み人形を実際に制作して学んだ。申し込みが102人あったため、追加講座を設け、抽選により受講者90人(30人×3回)を決定した。 制作物：木目込み人形「卯」	一般	A. 12月4日(土) B. 12月7日(火) 追加 12月5日(日) 午前10時～午後3時 講師：創作人形作家 石田 節子 氏 木目込みふくろうの会	A. 29 B. 29 追加 30 のべ 88
	年間 8回(予定)	様々な体験学習をとおり、伝統文化や郷土朝霞への興味と理解を育てる。			
博物館 体験 教室	①火おこしに挑戦！ [2回]	木製発火具を使った火おこし(まいぎり式)と、希望者は火打石による火おこしを体験した。	どなた でも	5月16日(日) (1)午後1時30分～ (2)午後2時30分～ 当館学芸員 江原 順	(1)4組 11 (2)7組 20 のべ 11組 31
	②糸車で糸を紡ごう [4回]	綿繰り機で綿の実から種を取り、糸車を回して綿から糸を紡ぐ体験をした。 申込が定員を超えたため、講師と相談のうえ追加講座を設けて希望者全員を受け入れた。	どなた でも	7月11日(日) (1)午後1時30分～ (2)午後2時15分～ (3)午後3時～ (4)午後3時45分～ 【追加講座】 染織サークル あかね	(1)5組 15 (2)5組 12 (3)5組 16 (4)5組 14 のべ 20組 57
	③糸車実習 [2回]	「糸車で糸を紡ごう」の発展形として、糸車による糸紡ぎが出来る市民を育てるため、糸車での実習を集中的に行なった。	一般	12月1日(水) (1)午後1時30分～ (2)午後2時30分～ 染織サークル あかね	(1) 4 (2) 2 のべ 6
	④お正月遊びで 遊ぼう！ [6日間]	正月(冬休み)時期にあわせ、江戸時代の紙すごろくや盤すごろく、朝霞郷土かるたなど、屋内でできる「お正月遊び」を実際に遊べる機会とした。	どなた でも	平成23年 (1)1月5日(水) (2)1月6日(木) (3)1月7日(金) (4)1月8日(土) (5)1月9日(日) (6)1月10日(月) 午前9時30分 ～午後4時30分	(1)0組 0 (2)3組 7 (3)4組 43 (4)3組 6 (5)2組 4 (6)6組 13 のべ 18組 73
	⑤鏡作りに挑戦！	低融点合金を使って、鋳造鏡作りを体験した。	小学 3年生 以上	平成23年 1月22日(土) 午前10時30分 ～午後2時30分 当館学芸員 江原 順	小学生 10 中学生 2 のべ 12
	⑥石臼ごろごろ [9回]	石臼で大豆をひいてきな粉を作ったり、薬研で茶葉を粉にする体験をした。 申込が定員(6組×3回)を大幅に超えたため、定員・時間を調整して講座回数を増やし(4組×9回)、希望者全員を受け入れた。	どなた でも	平成23年 2月13日(日) (1)午後1時10分～ (2)午後1時30分～ (3)午後1時50分～ (4)午後2時10分～ (5)午後2時30分～ (6)午後2時50分～ (7)午後3時10分～ (8)午後3時30分～ (9)午後3時50分～ 当館職員	(1)3組 10 (2)2組 7 (3)4組 14 (4)4組 10 (5)4組 13 (6)3組 9 (7)4組 13 (8)4組 11 (9)3組 10 のべ 31組 97

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
博物館 体験 教室	⑦綿繰り実習 [5日×2回]	自分で栽培した綿の実から、綿繰り機で種を取る実習をする。 ※東日本大震災の影響により、中止。	どなたでも (綿の実を持っている方)	平成23年 ①3月20日(日) ②3月21日(月) ③3月23日(水) ④3月24日(木) ⑤3月26日(土) (1)午前10時～ (2)午前11時～ 当館学芸員 赤澤 由美子	中止
	⑧糸車で糸を紡ごう [3回]	綿繰り機で綿の実から種を取り、糸車を回して綿から糸を紡ぐ体験をする。 ※東日本大震災の影響により、中止。	どなたでも	平成23年 3月26日(土) (1)午後1時30分～ (2)午後2時15分～ (3)午後3時～ 染織サークル あかね	中止
夏 休 み 体 験 教 室	夏休み期間 全6回	小学生を対象とし、夏休みの自由研究の一助となるように、様々な体験学習を行った。また、本講座①～③は学芸員実習期間のため、教育普及事業の実務として実習生が参加児童の指導補助を担当した。			
	①葉っぱのほんもの 図鑑 (※テーマ展示 関連事業)	博物館敷地内にて葉を採集(雨天のため、予め枝を伐採しておいたものから採集)し、自分だけの本物図鑑を作成した。 申し込みが58人あり、抽選により受講者20人を決定した。	小学生	7月30日(金) 午後1時30分～3時 当館専門調査員 青木 修 補助:学芸員実習生	20
	②昆虫をさがそう! (※テーマ展示 関連事業)	博物館敷地内にて昆虫を採集し、ルーペ等を用いて観察シートを作成した。 申し込みが57人あり、抽選により受講者20人を決定した。	小学生	8月4日(水) 午後1時30分～3時 当館専門調査員 青木 修 補助:学芸員実習生	20
	③土器をつくろう	粘土を使って土器をつくり、あわせて土器とはどのようなものを学習した。 申し込みが74人あり、抽選により受講者32人を決定した。	小学 3年生 以上	8月6日(金) 午後1時30分～3時 当館学芸員 江原 順 補助:学芸員実習生	32
	④埼玉県の立体地図 をつくろう	糊つきパネルボードを使って、埼玉県の立体地図を作り、埼玉県の地形の特徴を学習した。 申し込みが40人あったため、追加講座を設け、抽選により受講者32人(16人×2回)を決定した。	小学 3年生 ～ 中学生 (3・4年生は保護者同伴)	8月20日(金) (1)午前10時～正午 【追加講座】 (2)午後1時30分 ～3時30分 当館学芸員 赤澤 由美子	(1)小学生14 保護者5 (2)小学生14 保護者9 のべ42
⑤ひもで アクセサリを つくろう [2回]	日本や韓国などの伝統的な結び「アジアノット」の手法を学びながら、ストラップやブレスレットを作った。 申し込みが63人あり、抽選により受講者48人(24人×2回)を決定した。	小学生	8月26日(木) (1)午後1時30分～ 2時30分 (2)午後3時～4時 当館主査 北岡 秀樹 当館学芸員 佐藤 華織 補助:小中学校5年経験者研修生	(1) 24 (2) 24 のべ 48	

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
夏休み体験教室	⑥水車の模型をつくろう	水車の回転を上下運動の動力に変える部分を組み立てて模型を作り、水車の仕組みについて学びながら、朝霞市に昔水車があり、動力として活用していた郷土の歴史を学習した。申し込みが 67 人あり、抽選により受講者 30 人を決定した。	小学 3年生 以上	8月31日(火) 午後1時30分～ 3時30分 NPO法人 科学芸術学際研究所 [ISTA]	小学生 27 中学生 1 のべ 28
夏休み美術・工芸教室 「とびだす絵日記」		小学生を対象とし、夏休みを活用した美術工芸分野の体験を行った。夏休みの思い出をもとに、ポップアップの手法でとびだす絵日記を作った。	小学生 (4年生以下は保護者同伴)	8月29日(日) 午前10時～午後3時 グラフィックデザイナー 茂木 静枝 氏 イラストレーター 村上 優枝 氏	小学生 12 保護者 6 幼児 2 のべ 20

(2) 平成23年度

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数(人)
第26回企画展	第26回企画展 「鷹狩りと朝霞」	鷹狩りやそれに関わる資料を列品するとともに、江戸時代に将軍家、尾張徳川家の鷹場であった朝霞市域の村々の生活を、地域史料から紐解いた。	——	10月15日(土) ～11月27日(日)	7,804
	講演会 「鷹狩りと村々の暮らし」	近世の鷹場をめぐる、為政者と村との関係を学習した。	一般	10月23日(日) 午後2時～3時30分 法政大学教授 根崎 光男 氏	58
	講演会 「鷹匠が語る—鷹狩りに秘められた和の心—」	鷹狩りの歴史や伝統の技術について、鷹匠の立場から学習した。	一般	11月23日(水・祝) 午後2時～3時30分 NPO法人日本放鷹協会 会長 室伏 三喜男 氏	65
	見学会 「放鷹術実演—朝霞の空を鷹が舞う—」	鷹匠の基本技を見学したほか、市民による放鷹体験(午前午後各4人)を行った。見学会終了後に、鷹匠や鷹との記念撮影会を実施した。	一般	11月12日(土) ①午前10時～11時 ②午後2時～3時 NPO法人日本放鷹協会	① 252 ② 286 のべ538
	連続講座 「鷹場史料を読み解く」 連続3回	鷹場法度などの基本的な鷹場史料を、くずし字から読み解いた。	一般	①11月1日(火) ②11月8日(火) ③11月15日(火) 午後1時30分～ 3時30分	① 32 ② 34 ③ 29 のべ95
	フィールドワーク 「朝霞お鷹場めぐり」 単回2回	鷹場の境界を示す御定杭は朝霞のどのあたりにあったのかを、市内を歩きながら学習した。	中学生以上	① 10月29日(土) ② 11月20日(日) 午後1時30分～ 3時30分 当館学芸員 朝霞市郷土史研究会	① 20 ② 30 のべ50
	ギャラリートーク 単回3回	企画展担当学芸員が展示解説を実施。	どなたでも	①10月15日(土) ②11月3日(木・祝) ③11月27日(日) 当館学芸員	① 10 ② 17 ③ 42 のべ69
テーマ展示	色のいろいろ ～色の材料な～んだ?～	三原色を中心に、どのように色がつくられ、また染色・着色されていたかを紹介した。体験教室で実施した染色作品の展示や、実際に「色」を実演・体験してもらえるコーナーを設けるなど、夏休みの体験学習のヒントにできるような構成とし、併せて、朝霞ブランドである絵具メーカー・株式会社クサカベにご協力いただいた。	——	7月23日(土) ～9月4日(日)	8,888
	朝霞市県展作品展	第61回埼玉県美術展覧会(県展)において出品された市内作家(協賛団体会員を含む)の入選・委嘱・招待・作品を集めて紹介した。	——	9月17日(土) ～10月2日(日) 協賛:朝霞市美術協会 *展示作品数28点 *ギャラリートーク6回開催	3,683 ギャラリー トーク のべ72

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数(人)
ギ ャ ラ リ ー 展 示	遊覧飛行あさかⅣ	近年公開が進む陸軍撮影の航空写真と「遊覧飛行あさかⅠ～Ⅲ」で展示した資料を合わせ、戦前戦後の朝霞市域を紹介した。	——	4月29日(金・祝) ～7月3日(日)	8,429
	みんなあーちすと ～○・□・△の 大ぼうけん!～	プリントされた○や□がどんな冒険をしているのかを、一枚の画用紙の中で自由に表現した。制作及び展示は、夏休みワークショップ参加者の部と市内保育園・幼稚園の部に分けて行った。	——	9月10日(土) ～10月2日(日) *展示作品数 1,685点 一般 666点 保育園幼稚園 1,019点	4,555
	みんなあーちすと ～○・□・△の 大ぼうけん!～ 作品制作 ワークショップ 〔22日間〕	来館者が自由に作品作りを行えるワークショップを実施し、週替わりで絵画技法体験プログラムを行った。 ①紙はんが ②フィンガーペイント ③スタンプ ④モザイク ⑤ぼかし絵	どなた でも (おおむね 5才以上 ・ 小学生 中心)	7月26日(火) ～8月27日(土) ①7/26～7/31 ②8/4～8/7 ③8/9～8/14 ④8/16～8/21 ⑤8/23～8/27 制作指導(臨時職員): 新座総合高校デザイン 専攻科学生及び絵画指 導等経験者	① 279 ② 210 ③ 185 ④ 175 ⑤ 206 のべ 1,055
	縄文の足あと ～西久保・宮山遺跡～	縄文時代の遺構や遺物が多く見つかった調査地点を中心に、最新の発掘成果を写真や資料から紹介した。	——	1月14日(土) ～3月4日(日)	4,332
歴 史 講 座	【前期】 朝霞人物伝 ～明治編～ 連続3回	朝霞の歴史に名を残し、明治期を中心に活躍した人物について、その事績や朝霞とのかかわりについて学習した。 ①明治をつくった男 山岡 鉄舟 ②ゴルフの宮様と朝霞ゴルフ場 朝香宮鳩彦王 ③朝霞大仏に託した思い 根津 嘉一郎	一 般	①5月28日(土) 全生庵 住職 平井 正修 氏 ②6月4日(土) 東京ゴルフ倶楽部 顧問 福島 靖 氏 ③6月11日(土) 元武蔵学園記念室 司書 鈴木 勝司 氏 午後2時～3時30分	① 37 ② 39 ③ 50 のべ 126
	【後期】 清盛の時代を読む 連続3回	歴史史料の読み方や調べ方とともに、同時代の人々がどのように平清盛や平氏政権を見ていたのかを学習した。 ①「中右記」を読む ～藤原宗忠がみた平清盛～ ②「玉葉」を読む ～九条兼実がみた平氏一族～ ③「吾妻鏡」を読む ～鎌倉幕府がみた平氏政権～	一 般	①12月3日(土) 大正大学教授 小此木 輝之 氏 ②12月10日(土) 大正大学専任講師 三浦 龍昭 氏 ③12月17日(土) 大正大学教授 小此木 輝之 氏 午後2時～3時30分	① 61 ② 64 ③ 66 のべ 191

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
古文書講座	【前期】 はじめての古文書 連続3回	初心者を対象に、古文書の読み 解き方を学習しながら、史料に より地域の歴史を学ぶ機会と した。 テキスト：細田優家文書 「旗本下知状」 「借用証文」 ほか	一 般	①5月29日(日) ②6月5日(日) ③6月12日(日) 立正大学講師 栗原 健一 氏 午前10時～正午	① 30 ② 29 ③ 30 のべ 89
	【後期】中級編	夏に実施した古文書講座「はじ めての古文書」終了者及びす でに古文書に親しんでいる市民 を対象に実施。 テキスト：細田優家文書 「諸用御調控蝶」	一 般	①2月26日(日) ②3月4日(日) ③3月11日(日) 立正大学講師 栗原 健一 氏 午前10時～正午	① 26 ② 24 ③ 24 のべ 74
くらしと文化の講座 「化粧」 連続4回		化粧の全般について学習する ことで、化粧の在り方や女性に とっての化粧について、理解や 知識を深める。 ①江戸のメイクは赤・白・黒 —三色を極める女が 美を制す— ②江戸美人の作り方—江戸化 粧実演見学と紅点し体験— ③化粧品広告の明治・大正・昭 和—美しく装う女たち— ④キレイの文化史 —ヒトと化粧の今昔—	一 般	①3月3日(土) 伊勢半本店紅ミュージアム 学芸員 立川 亜里沙 氏 ②3月10日(土) メイクアップアーティスト 天尾 久美子 氏 ③3月17日(土) 元アド・ミュージアム東京 アーキビスト 戸松 恭子 氏 ④3月24日(土) ポーラ文化研究所 研究員 富澤 洋子 氏 午後2時～3時30分	① 23 ② 21 ③ 17 ④ 13 のべ 74
博物館 体験 教室	年間6回	様々な体験学習をとおり、伝統 文化や郷土朝霞への興味と理 解を育てる。			
	①火おこしに挑戦！ [3回]	木製発火具を使った火おこし (まいぎり式)と、希望者は火 打石による火おこしを体験し た。	どなた でも	5月22日(日) ①午後1時30分 ～2時15分 ②午後2時30分～ ～3時15分 ③午後3時30分～ ～4時15分 当館学芸員 斉藤 純	① 6組 22 ② 7組 29 ③ 8組 26 のべ 21組 77
	②糸車で糸を紡ごう [3回]	綿の実から種を取って綿にし、 糸車で綿から糸を紡ぐ体験を することにより、昔の道具への 興味と理解を育てるとともに、 糸のなりたちを学習した。	どなた でも	6月26日(日) ①午後1時30分 ～2時10分 ②午後2時15分 ～2時55分 ③午後3時～3時40分 染織サークルあかね	① 4組 9 ② 3組 5 ③ 3組 10 のべ 10組 24
③玉ねぎで 染めよう！	玉ねぎの皮で染色を行い、媒染 液の化学変化により色が変わ る実験などを行った。作品はテ ーマ展示「色のいろいろ」の展 示資料とした。申込が定員を超 えたが講師と相談のうえ全員を受け 入れた。(参加小学生のみ)	小学生 及び 中学生	7月3日(日) 午後1時30分～3時 染色作家 稲田 きみ子 氏 補助：川越 美代 氏	24	

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数(人)
博物館 体験 講座	④お正月遊びで遊ぼう！	正月休み(冬休み)に合わせて、正月遊びを自由に遊んでもらえる場所の提供として盤双六、紙双六の活用をメインに、家にはない、博物館ならではの「すごろく」「かるた」を体験してもらった機会とした。	どなたでも	①1月5日(木) ②1月6日(金) ③1月7日(土) ④1月8日(日) ⑤1月9日(月・祝) 午前9時30分 ～午後4時30分	①4組 2 5 ②4組 1 0 ③2組 2 ④10組 2 6 ⑤6組 2 4 のべ87
	⑤石を磨いてアクセサリを作ろう！ [2回]	ギャラリー展「縄文の足あとー西久保・宮山遺跡」に関連し、加工しやすい石(ろう石)を削ってまが玉などにして、自分だけのアクセサリを作った。	どなたでも	2月12日(日) ①午後1時30分 ～2時30分 ②午後3時～4時 当館学芸員 斉藤 純	①10組 23 ②10組 19
	⑥糸車で糸を紡ごう！	綿の実から種を取って綿にし、糸車で綿から糸を紡ぐ体験をすることにより、昔の道具への興味と理解を育てるとともに、糸のなりたちを学習する。	どなたでも	3月25日(日) ①午後1時30分～ ②午後2時15分～ ③午後3時～ 染織サークルあかね	① 10 ② 12 ③ 11 のべ33
伝統文化体験講座 「友禅染め」 連続5回	友禅染めの伝統的な技法を下絵から全工程を通して体験した。	一般	①10月5日(水) ②10月6日(木) ③10月19日(水) ④10月20日(木) ⑤10月26日(水) 午後2時～3時30分 染色作家 稲木 久氏 補助：稲木 実氏	① 17 ② 19 ③ 17 ④ 16 ⑤ 19 申込 受講者数 19	
夏 休 み 体 験 教 室	夏休み期間 全5日	小学生を対象とし、夏休みの自由研究の一助となるように、様々な体験学習を行った。また、本講座①～③は学芸員実習期間のため、教育普及事業の実務として実習生が参加児童の指導補助を担当した。			
	①博物館の葉っぱで染めよう！	博物館で採集できるサクラ・アカメガシワ・ムク・クリで染色を行い、媒染による色の違いや、植物について学習をした。できあがった作品はテーマ展示「色のいろいろ」で展示した。(テーマ展示「色のいろいろ ～色の材料な～んだ?～」の関連事業)	小学生	8月3日(水) 午前10時～11時45分 当館専門調査員 青木 修 補助：当館学芸員 伊藤麻紀子、斉藤 純学 芸員実習生(11人)	19

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
夏 休 み 体 験 教 室	②絵の具をつくろう！	絵の具の原料となる石を粉にして絵の具を作り、作品を作った。溶剤を変えることでできる、絵の具の違いなどを学習した。(テーマ展示「色のいろいろ ～色の材料な～んだ?～」の関連事業)	小学生	8月6日(土) 午後1時30分～3時 当館専門調査員 青木 修 補助:当館学芸員 齊藤 純 学芸員実習生(11人)	20
	③かんたん織物・コースターをつくろう！	ダンボールでできる簡単な織り機を使い、身近なひもや毛糸などを用いてコースターを織った。布ができる基本を学習した。	小学生	8月10日(水) 午後1時30分～3時 当館学芸員 伊藤 麻紀子 補助:学芸員実習生 (11人)	23
	④まが玉をつくろう	ロウセキを削って、古代人のアクセサリーのまが玉を作った。実施にあたっては小・中学校5年経験者研修社会貢献活動体験研修生(3人)が講師補助を行った。希望者が定員を超えたため、追加講座を実施した。	小学生	8月18日(木) ①午前10時～ 午前11時30分 (追加講座) ②午後1時30分～ 午後3時 当館学芸員 齊藤 純	① 19 ② 20 延べ 39
	⑤絵の具をつくろう！	絵の具の原料となる石を粉にして絵の具を作り、作品を作った。溶剤を変えることでできる、絵の具の違いなどを学習した。(テーマ展示「色のいろいろ～色の材料な～んだ?～」の関連事業)	小学生	8月24日(水) 午前10時～ 午前11時30分 当館専門調査員 青木 修 当館学芸員 齊藤 純 自然系調査補助員 瀧森 順子	20
夏休み美術・工芸教室 「手づくりアニメに挑戦!」		絵画と工作両方の面白さを体験し、様々な道具や画材の使い方の習得を目的とし、アニメーションの原理である「ゾートロップ」を作り、絵がどのように動いてアニメーションになるのかを学習した。	小学 3年生 以上	8月28日(日) 午前10時～ 午後2時30分 グラフィックデザイナー- 茂木 静枝 氏 イラストレーター 村上 優枝 氏	20

(3) 博学連携

①博物館利用検討委員会

博物館利用検討委員会は、博物館がもつ、「もの」「ば」「ひと」を有効に活用し、学習を豊にするため、学校現場と博物館とのより良い協力関係を目指して、朝霞市教育委員会学校教育部教育指導課の主催により設置されている。平成23年度には『朝霞市博物館活用授業実践事例集V』を刊行した。

<平成22年度朝霞市博物館利用検討委員会委員>

所 属	職 名	氏 名	備 考
朝霞第四小学校	校長	大 竹 仁	委員長
朝霞第一小学校	教諭	山 城 智 美	
朝霞第二小学校	教諭	菊 池 敦 子	
朝霞第三小学校	教諭	神 山 文 子	
朝霞第四小学校	教諭	吉 田 尚 弘	
朝霞第五小学校	教諭	長 江 真 也	
朝霞第六小学校	教諭	片 桐 拓 海	
朝霞第七小学校	教諭	久 谷 倫 子	
朝霞第八小学校	教諭	早 川 章	
朝霞第九小学校	教諭	尾 身 紀 子	
朝霞第十小学校	教諭	阿佐美 裕 介	
朝霞第一中学校	教諭	大久保 未 来	
朝霞第二中学校	教諭	寺 本 貴 範	
朝霞第三中学校	教諭	須 藤 光太郎	
朝霞第四中学校	教諭	角 津 裕 美	
朝霞第五中学校	教諭	下 田 真希子	

<平成22年度事務局>

所 属	職 名	氏 名
学校教育部教育指導課	課長	横 山 敬 一
学校教育部教育指導課	指導主事	小 島 孝 之
朝霞市博物館	館長	佐々木 篤 史
朝霞市博物館	主任（学芸員）	赤 澤 由美子
朝霞市博物館	主任（学芸員）	佐 藤 華織

<平成23年度朝霞市博物館利用検討委員会委員>

所 属	職 名	氏 名	備 考
朝霞第九小学校	校長	尾 崎 良 夫	委員長
朝霞第一小学校	教諭	伊 藤 隆 二	
朝霞第二小学校	教諭	山 口 大 輔	
朝霞第三小学校	教諭	兼 竹 久美子	
朝霞第四小学校	教諭	沼 野 将 希	
朝霞第五小学校	教諭	山 城 智 美	
朝霞第六小学校	教諭	小 林 美 加	
朝霞第七小学校	教諭	須 田 道 子	
朝霞第八小学校	教諭	近 藤 広 明	
朝霞第九小学校	教諭	小 川 広 美	
朝霞第十小学校	教諭	檜 山 翔 太	
朝霞第一中学校	教諭	寺 本 孝 範	
朝霞第二中学校	教諭	大久保 未 来	
朝霞第三中学校	教諭	北 地 英 明	
朝霞第四中学校	教諭	角 津 裕 美	
朝霞第五中学校	教諭	下 田 真希子	

＜平成23年度事務局＞

所 属	職 名	氏 名
学校教育部教育指導課	課長	瀧 沢 靖 雄
学校教育部教育指導課	指導主事	矢 田 敦 子
朝霞市博物館	館長	神 津 明 美
朝霞市博物館	主任（学芸員）	赤 澤 由美子
朝霞市博物館	主任（学芸員）	斉 藤 純

②小学校1、3・4、6年生博物館利用授業

授業による博物館利用の促進を目的とする。

社会科にて郷土学習を始める小学校4年生（学習指導要領改訂により、平成23年度から3年生に移行）と、歴史学習を始める小学校6年生を対象に、各種体験学習・展示資料調べ学習等の授業を行った。また、小学校1年生を対象に国語科「たぬきの糸車」の授業による糸車の体験を行った。内容については、各小学校・博物館利用検討委員会・教育指導課とともに検討している。

＜小学校1年生博物館利用授業＞

	実施日	学校名・クラス数	人数	概要
平成22年度	2月 8日(火)	朝霞第七小学校1年生5C【出張授業】	153	「たぬきの糸車」の授業による博物館利用（糸車の体験）を行った。
	2月 9日(水)	朝霞第十小学校1年生3C【出張授業】	97	
	2月23日(水)	朝霞第六小学校1年生4C【出張授業】	120	
	2月24日(木)	朝霞第四小学校1年生3C【出張授業】	95	
	2月25日(金)	朝霞第八小学校1年生4C【出張授業】	142	
	3月 2日(水)	朝霞第二小学校1年生4C【出張授業】	131	
	3月 3日(木)	朝霞第三小学校1年生3C【出張授業】	111	
	3月 4日(金)	朝霞第一小学校1年生4C【出張授業】	128	
	3月 8日(火)	朝霞第九小学校1年生2C【出張授業】	61	
	3月 9日(水)	朝霞第五小学校1年生5C【出張授業】	152	
	3月10日(木)			
	3月11日(金)			
	合計	10校 37クラス	1190	
平成23年度	1月31日(火)	朝霞第五小学校1年生5C【出張授業】	174	「たぬきの糸車」の授業による博物館利用（糸車の体験）を行った。
	2月 1日(水)	朝霞第二小学校1年生4C【出張授業】	134	
	2月 8日(水)	朝霞第六小学校1年生4C【出張授業】	129	
	2月10日(金)	朝霞第九小学校1年生2C【出張授業】	67	
	2月14日(火)	朝霞第七小学校1年生5C【出張授業】	164	
	2月15日(水)	朝霞第三小学校1年生4C【出張授業】	125	
	2月17日(金)	朝霞第一小学校1年生4C【出張授業】	126	
	2月22日(水)	朝霞第十小学校1年生4C【出張授業】	135	
	2月29日(水)	朝霞第八小学校1年生4C【出張授業】	130	
	2月24日(金)	朝霞第四小学校1年生3C【出張授業】	100	
	2月29日(水)			
	3月 2日(金)			
	合計	10校 39クラス	1,284	

※出張授業については、各学校を会場としている。

< 小学校 3・4 年生博物館利用授業 >

	実施日	学校名・クラス数	人数	概要
平成 22 年度	6月22日(火)	朝霞第九小学校4年生2C【出張授業】	65	石臼・縄ない機等の 民具体験学習や洗濯 体験、民具展示の調 べ学習を行った。 また、民具の貸出し も行った。
	6月24日(木)	朝霞第八小学校4年生5C【出張授業】	165	
	6月29日(火)	朝霞第六小学校4年生4C	132	
	6月30日(水)	朝霞第十小学校4年生3C【出張授業】	123	
	7月1日(木)	朝霞第一小学校4年生4C【出張授業】	151	
	9月9日(水)	朝霞第五小学校4年生5C【出張授業】	171	
	9月22日(水)	朝霞第七小学校4年生4C	145	
	10月14日(木)	朝霞第二小学校4年生4C【出張授業】	135	
	10月15日(金)	朝霞第三小学校4年生3C【出張授業】	111	
	11月10日(水)	朝霞第二小学校4年生4C	135	
	11月12日(金)	朝霞第四小学校4年生3C【出張授業】	88	
	合計	11校41クラス	1421	
平成 23 年度 (4 年生)	6月14日(火)	朝霞第十小学校4年生3C	112	石臼・縄ない機等の 民具体験学習や洗濯 体験、民具展示の調 べ学習を行った。 また、民具の貸出し も行った。
	6月15日(水)	朝霞第一小学校4年生4C【出張授業】	161	
	6月28日(火)	朝霞第八小学校4年生5C【出張授業】	169	
	6月29日(水)			
	6月30日(木)	朝霞第六小学校4年生4C	126	
	7月1日(金)	朝霞第二小学校4年生4C【出張授業】	131	
	9月28日(水)	朝霞第三小学校4年生3C【出張授業】	108	
	9月29日(木)	朝霞第七小学校4年生4C	154	
	9月30日(金)			
	10月6日(木)	朝霞第五小学校4年生5C出張授業】	180	
	10月7日(金)	朝霞第四小学校4年生2C【出張授業】	82	
	10月18日(火)			
	12月20日(火)	朝霞第七小学校4年生4C【出張授業】	154	
12月21日(水)				
	合計	9校38クラス	1,377	
平成 23 年度 (3 年生)	1月19日(木)	朝霞第六小学校3年生4C		石臼・縄ない機等の 民具体験学習や洗濯 体験、民具展示の調 べ学習を行った。 また、民具の貸出し も行った。
	1月25日(水)	朝霞第十小学校3年生3C【出張授業】	106	
	1月26日(木)	朝霞第七小学校3年生4C	139	
	1月27日(金)	朝霞第九小学校3年生2C【出張授業】	60	
	2月2日(木)	朝霞第五小学校3年生5C【出張授業】	176	
	2月3日(金)			
	2月9日(木)	朝霞第三小学校3年生3C【出張授業】	105	
	2月10日(金)	朝霞第二小学校3年生3C	116	
	2月16日(木)	朝霞第四小学校3年生3C【出張授業】	93	
	2月23日(木)	朝霞第八小学校3年生4C【出張授業】	152	
	3月1日(木)	朝霞第一小学校3年生4C【出張授業】	123	
	合計	10校35クラス	1,210	

※出張授業については、各学校を会場としている。

< 小学校 6 年生博物館利用授業 >

	実施日	学校名・クラス数	人数	概要
平成 22 年度	4月27日(火)	朝霞第六小学校 6年生 4C	148	火おこし体験学習や、 常設展示室(考古・歴史分野)調べ学習等を行った。
	4月28日(水)	朝霞第四小学校 6年生 2C 【出張授業】	82	
	5月7日(金)	朝霞第九小学校 6年生 2C 【出張授業】	63	
	6月4日(金)	朝霞第六小学校 6年生 4C 【出張授業】	148	
	6月18日(金)	朝霞第三小学校 6年生 3C	123	
合計	5校 15クラス	56		
平成 23 年度	4月20日(水)	朝霞第六小学校 6年生 4C	125	
	4月27日(水)	朝霞第五小学校 6年生 6C 【出張授業】	216	
	4月28日(木)	朝霞第四小学校 6年生 2C 【出張授業】	72	
	5月11日(水)	朝霞第四小学校 6年生 2C 【出張授業】	72	
	5月25日(水)	朝霞第二小学校 6年生 3C 【出張授業】	118	
	6月4日(土)	朝霞第九小学校 6年生 2C 【出張授業】	76	
合計	5校 17クラス	607		

※出張授業については、各学校を会場としている。

(4) 博物館学芸員実習

以下のとおり、博物館学芸員課程履修学生の受け入れを行った。

< 平成 22 年度 >

実施日	内 容
7月28日(火)	オリエンテーション 館長講話 館内見学 博物館の経営について 夏休み体験教室「ひもでアクセサリをつくろう!」について 博物館の活動・学芸員の活動
7月29日(水)	教育普及について 博物館の管理について 博物館資料について
7月30日(木)	写真撮影について 資料整理
7月31日(金)	夏休み体験教室「化石を探そう!」 準備・模擬・補助
8月1日(土)	収蔵庫清掃補助 展示について①構想・調査
8月2日(日)	自由参集日
8月4日(火)	地域史に学ぶ一中世城館跡「岡の城山」を例として一 刀剣の手入れについて
8月5日(水)	夏休み体験教室「石を磨いて飾りを作ろう!」 準備・模擬・補助
8月6日(木)	展示について②調査・展示準備
8月7日(金)	展示について③展示準備 夏休み体験教室「ひもでアクセサリをつくろう!」補助
8月8日(土)	展示について④列品等
8月9日(日)	展示について⑤列品 展示について⑥展示解説・講評(展示の修正・日誌の整理等) 閉講の会

大学名	学部学科	受入人数
尚美学園大学	総合政策学部総合政策学科	1
大東文化大学	文学部日本文学科	1
工学院大学	工学部応用科学科	1
学習院大学	文学部英米文学科	1
大東文化大学	国際関係学部国際関係学科	1
大東文化大学	法学部政治学科	1
東京国際大学	人間社会学部社会文化学科	1
立教大学	観光学部観光学科	1
東京学芸大学	教育学部文化財科学科	1
立教大学	文学部史学科	1
大正大学	文学部歴史文化学科	1
武蔵野美術大学	造形学部基礎デザイン学科	1
合計	10 大学	12

<平成23年度>

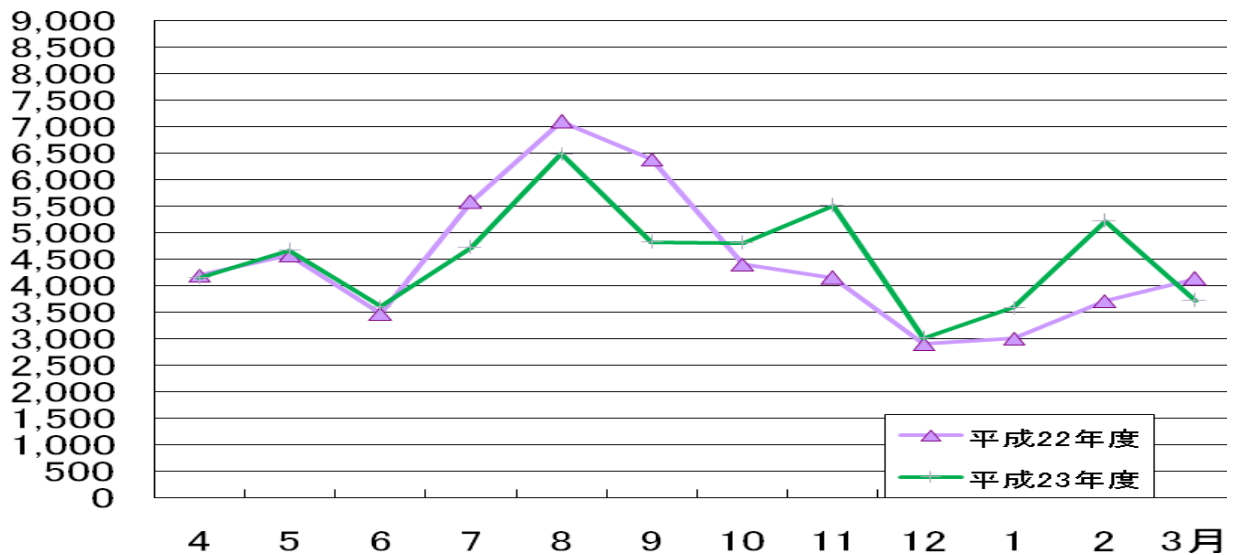
実施日	内 容
7月28日(火)	オリエンテーション 館長講話 館内見学 博物館の経営について 博物館の活動・学芸員の活動
7月29日(水)	教育普及について 博物館の管理について 博物館資料について
7月30日(木)	写真撮影について 資料整理
7月31日(金)	夏休み体験教室「化石を探そう！」準備・模擬・補助
8月1日(土)	収蔵庫清掃補助 展示について①構想・調査
8月2日(日)	自由参集日
8月4日(火)	地域史に学ぶ—中世城館跡「岡の城山」を例として— 刀剣の手入れについて
8月5日(水)	夏休み体験教室「石を磨いて飾りをつくろう！」準備・模擬・補助
8月6日(木)	展示について②調査・展示準備
8月7日(金)	展示について③展示準備 夏休み体験教室「ひもでアクセサリーをつくろう！」補助
8月8日(土)	展示について④列品等
8月9日(日)	展示について⑤列品・解説・講評・展示の修正 閉講の会

大学名	学部学科	受入人数
専修大学	文学部人文学科	1
東京工芸大学	メディアアート表現	1
埼玉大学	科目等履修生	1
日本大学	芸術学部文芸学科	1
学習院大学	文学部フランス語圏文化学科	1
東京学芸大学	教育学部文化財科学科	1
聖心女子大学	文学部歴史社会学科	1
立正大学	文学部史学科日本近世史専攻	1
大東文化大学	環境創造学部環境創造学科	1
学習院大学	文学部ドイツ語圏文化学科	1
工学院大学	工学部建築都市デザイン学科	1
合計	10大学	11

(5) 利用統計

	月	開館 日数	入館者数	平均 入館者数	学校団体		一般団体	
					団体数	人数	団体数	人数
平成 22 年度	4月	24	4,187	174	3	238	10	147
	5月	25	4,570	183	2	72	20	273
	6月	19	3,468	183	6	756	13	123
	7月	27	5,574	206	4	215	14	161
	8月	26	7,097	273	2	29	18	182
	9月	26	6,383	246	4	337	20	242
	10月	27	4,396	163	3	270	12	151
	11月	22	4,147	189	7	323	13	206
	12月	22	2,897	132	1	15	7	131
	1月	22	3,003	137	2	12	13	243
	2月	23	3,711	161	5	471	8	62
	3月	26	4,130	159	6	725	6	59
	合計	289	53,563	185	45	3,463	154	1,980
平成 23 年度	4月	25	4,146	166	7	377	7	64
	5月	24	4,668	195	2	190	13	136
	6月	19	3,607	190	8	846	15	122
	7月	26	4,718	181	2	146	22	185
	8月	26	6,486	249	3	27	23	213
	9月	26	4,820	185	4	266	18	310
	10月	26	4,800	185	2	262	12	153
	11月	24	5,506	229	3	42	15	180
	12月	22	3,005	137	2	160	9	122
	1月	22	3,584	163	6	625	5	115
	2月	24	5,213	217	18	1,873	12	129
	3月	25	3,713	148	2	220	7	82
	合計	289	54,266	188	59	5,034	158	1,811
累計 平成8~23年度	4,322	763,805	177	548	39,296	1,332	20,301	

※入館者数は団体人数を含む。



4. 資料収集・保存事業

(1) 資料の収集及び活用

当館の収蔵資料は、資料館設立準備室設置（平成3年）以前に教育委員会で収集した資料、準備室及び博物館が寄贈・寄託を受けた資料、調査・展示等のために借用している資料を基本とする。また、平成11年度以降は「朝霞市博物館資料収集方針」（巻末参照）にのっとり、購入による資料収集も行っている。

これらの資料は、館有資料目録や資料利用目録を刊行し、展示や各種教育普及事業を通じて公開・活用を図っている。

収集方法	収集資料登録点数	
	平成22年度	平成23年度
購入	14	4
寄贈等※1	2,518	1,216
寄託	0	※2 3,232
借用	0	0
計	2,532	4,452

※1 採集・製作などを含む。

※2 古文書群2件

(2) 収蔵資料の保存・修復事業

<平成23年度>

「町名改称許可書」（市指定文化財）・「善悪道中出世双六」修復

資料の劣化を防ぐため、汚損・折れ・切れ等に対する修復処置を施した。

(3) 収蔵資料数

分野	分類	所属	点数	
考古資料		寄贈等	675	675
歴史資料	古文書	寄贈等	1,785	47,253
		購入	39	
		寄託	45,429	
	刊行物	寄贈等	6,646	6,766
		購入	93	
		寄託	27	
	地図	寄贈等	247	288
		購入	40	
		寄託	1	
	写真	寄贈等	3,322	3,331
		購入	9	
	音声・映像	寄贈等	3,680	3,682
購入		2		
美術・工芸資料	書蹟	寄贈等	32	40
		寄託	8	
	絵画	寄贈等	110	307
		購入	52	
	彫刻	寄託	145	4
		館有	4	
	工芸	寄贈等	92	184
		購入	14	
寄託		78		
民俗資料	民俗・芸能	寄贈等	10,189	10,488
		購入	177	
		寄託	122	
	伸銅	寄贈等	3,547	3,556
		寄託	9	
	防災	寄贈等	135	141
		寄託	6	
	戦争	寄贈等	271	282
寄託		11		
石造物	寄贈等	21	21	
自然科学系資料	生物	寄贈等	1,767	1,878
	地質	寄贈等	95	
		購入	16	
合 計				78,896
図書資料		寄 贈	22,746	26,183
		購 入	3,437	

※1 平成24年3月31日現在の登録収蔵資料である。

※2 資料点数については、当館資料番号を以って1点としている。

※3 資料分類については、調査の進行に伴い必要に応じて変更している。

5. 調査研究事業

収蔵資料・展示に関わる調査研究のほか、下記の調査を行った。

資料記録保存

朝霞市博物館で所蔵している古文書（主に相沢晴長家文書）のうち、明治から昭和前期の文書の中には酸性紙にこんやく版・孔版などで印刷され劣化の著しい資料が含まれている。現状は中性紙封筒に収納しているが、このような文書はいずれ文字を判読することが困難になってしまう。

資料の内容保存の方法にはマイクロフィルム化もあるが、現状の精度では完全に補完できないため、平成17年度から、専門調査員・調査補助員により、資料内容を書き取り記録保存する古文書調査を実施している。

資料番号	文書名	総資料点数	孔版資料点数	調査終了年度
託 97-5	相沢晴長家文書（第2次調査）※	約 35,000 点	約 5,000 点	～21年度 338 点 22年度 93 点 23年度 14 点 継続中 計 445 点

※現在調査中の「相沢晴長家文書（第2次調査）」については、資料点数が膨大なため、孔版資料の書き取り記録保存調査については、時代の古い明治時代の資料から優先して行っている。

6 委員

(1) 朝霞市博物館協議会委員 (順不同、敬称略)

大越久子	平成21年	2月20日～	
大竹仁	平成16年	5月13日～平成23年	3月31日
岡崎和広	平成22年	1月28日～平成23年	12月17日
尾崎良夫	平成22年	5月20日～	
金子幸男	平成9年	2月20日～	
斉藤弘道	平成22年	1月28日～平成23年	12月17日
笹原秀之	平成23年	5月19日～	
田辺淳	平成24年	1月26日～	
林宏一	平成11年	2月20日～	
村上優枝	平成17年	2月20日～	
茂木静枝	平成17年	2月20日～	
本山好子	平成24年	1月26日～	
森春男	平成19年	2月20日～	

(2) 朝霞市博物館資料評価委員 (順不同、敬称略)

※平成25年1月15日をもって廃止

《考古分野》

尾形則敏	平成17年	4月1日～平成25年	1月15日
鈴木一郎	平成11年	10月1日～平成25年	1月15日

《歴史分野》

梶山林継	平成11年	10月1日～平成24年	7月31日
根岸茂夫	平成11年	10月1日～平成25年	1月15日
小此木輝之	平成24年	8月1日～平成25年	1月15日

《民俗分野》

小川直之	平成11年	10月1日～平成25年	1月15日
増田昭子	平成11年	10月1日～平成24年	7月31日
柳正博	平成24年	8月1日～平成25年	1月15日

《美術・工芸分野》

内藤勝雄	平成14年	4月1日～平成25年	1月15日
原口雅樹	平成14年	4月1日～平成25年	1月15日

7. 刊行物

①企画展示図録

書名	刊行	判型	頁数	頒布価格
第1回企画展 あさかの弥生土器 －鉄斧とその時代－	平成9年10月	A4判	42頁	1,000円
第2回企画展 獅子の芸能と信仰 －厄除・子育て・五穀豊穡－	平成10年3月	A4判	44頁	1,000円
第3回企画展 風と浪漫の情景 －池田幹雄展－	平成10年10月	A4判	44頁	1,000円
第4回企画展 極楽往生を願って	平成11年3月	A4判	48頁	1,000円
第5回企画展 盃のある風景	平成11年10月	A4判	48頁	1,000円
第6回企画展 川と人々のくらし	平成12年3月	A4判	46頁	1,000円
第7回企画展 祈り・願い・想い －朝霞の絵馬－	平成12年10月	A4判	38頁	1,000円
第8回企画展 なつかしのおもちゃ	平成13年3月	A4判	34頁	1,000円
第9回企画展 旅 一道中日記の世界	平成13年10月	A4判	49頁	1,000円
市制施行35周年・博物館開館5周年記念 第10回企画展 富士と桜 －富士美術館コレクション－	平成14年3月	A4判	42頁	1,000円
第11回企画展 縄文土器の世界	平成14年10月	A4判	38頁	1,000円
第12回企画展 朝霞と鉄道	平成15年3月	A4判	46頁	1,000円
第13回企画展 朝霞の学校給食	平成15年10月	A4判	40頁	1,000円
第14回企画展 ニッポンノキレイ －丸沼芸術の森コレクションと朝霞の 工芸作家たち－ ※ポストカード5枚組300円	平成16年3月	A4判	40頁	1,000円
第15回企画展 古のにひくら －朝霞市・新座市・志木市・和光市出土品展－	平成16年10月	A4判	41頁	1,000円
第16回企画展 鎧 －伊澤昭二コレクションとともに－	平成17年3月	A4判	42頁	1,000円
第17回企画展 広沢郷の時代 －中世の朝霞を探る－	平成17年10月	A4判	31頁	1,000円
第18回企画展 日本のカメラ今昔物語	平成18年3月	A4判	48頁	1,000円
第19回企画展 雅楽－音・舞・技－	平成18年10月	A4判	47頁	1,000円
第20回企画展 埴輪の世界	平成19年3月	A4判	53頁	1,000円
第21回企画展 「もんじょ」と「ぶんじょ」 －古文書解読と記録保存－	平成19年10月	A4判	53頁	1,000円
第22回企画展 描かれた朝霞 －絵図・地図に見る郷土の風景－	平成20年3月	A4判	51頁	1,000円
第23回企画展 平安王朝 －源氏物語の時代－	平成20年10月	A4判	51頁	1,000円
第24回企画展 邪馬台国時代の朝霞 －土器が語る交流の時代－	平成21年10月	A4判	61頁	1,000円
第25回企画展 絵で遊ぶ 絵が遊ぶ －ゲームもニュースも浮世絵で－	平成22年10月	A4判	45頁	1,000円
第26回企画展 鷹狩りと朝霞	平成23年10月	A4判	53頁	1,000円

②テーマ展示・ギャラリー展示の図録・パンフレット・チラシ類

書名	刊行年月日	判型	頁数	頒布価格
花鳥のよそおい 着物下絵にみる模様のモチーフ	平成9年6月	A4判	8頁	—
平成9年度 朝霞市県展作品展	平成9年7月	A4判	1枚	—

みんなあ-ちすと つくる・かざる・みる	平成 9 年 7 月	A5 判	4 頁	—
朝霞市指定文化財写真展 あさかのたからもの	平成 9 年 11 月	A4 判	4 頁	—
かたどられたもよう 着物染付型紙にみる伝統美	平成 10 年 2 月	A4 判	8 頁	—
蓮と誕生仏の写真展	平成 10 年 6 月	A4 判	4 頁	—
平成 10 年度 朝霞市県展作品展	平成 10 年 7 月	A4 判	1 枚	—
みんなあ-ちすと つくる・かざる・みる	平成 10 年 5 月	A5 判	4 頁	—
描かれた魂 竹田幸子作品 尾崎豊の肖像画展	平成 10 年 11 月	A4 判	4 頁	—
縄文土器の美	平成 11 年 5 月	A4 判	4 頁	—
平成 11 年度 朝霞市県展作品展	平成 11 年 7 月	A4 判	4 頁	—
みんなあ-ちすと つくる・かざる・みる	平成 11 年 7 月	A5 判	4 頁	—
多彩なる染色の世界 一原梢美展一	平成 11 年 11 月	A4 判	38 頁	800 円
遊覧飛行あさかⅡ	平成 12 年 1 月	A4 判	4 頁	—
日本の城	平成 12 年 5 月	A4 判	4 頁	—
第 44 回埼玉県名刀展—戦国時代の刀—	平成 12 年 6 月	A4 判	4 頁	—
平成 12 年度 朝霞市県展作品展	平成 12 年 7 月	A4 判	4 頁	—
みんなあ-ちすと つくる・かざる・みる	平成 12 年 7 月	A5 判	4 頁	—
朝霞の年中行事 冬	平成 12 年 12 月	A4 判	4 頁	—
登録美術品特別公開 モネとドラクロワ	平成 13 年 2 月	A4 判	1 枚	—
あさかの湧き水	平成 13 年 5 月	A4 判	4 頁	—
夏の生き物	平成 13 年 7 月	A4 判	4 頁	—
平成 13 年度 朝霞市県展作品展	平成 13 年 7 月	A4 判	4 頁	—
みんなあ-ちすと つくる・かざる・みる	平成 13 年 7 月	A5 判	4 頁	—
博物館の草花	平成 13 年 12 月	A4 判	4 頁	—
収蔵品展	平成 14 年 1 月	A4 判	1 枚	—
埼玉の埴輪	平成 14 年 5 月	A4 判	4 頁	—
平成 14 年度 朝霞市県展作品展	平成 14 年 7 月	A4 判	4 頁	—
水辺の生き物	平成 14 年 7 月	A4 判	4 頁	—
埼玉の化石展	平成 14 年 7 月	A4 判	4 頁	—
みんなあ-ちすと つくる・かざる・みる	平成 14 年 7 月	A5 判	4 頁	—
富士山	平成 14 年 11 月	A4 判	4 頁	—
収蔵品展	平成 15 年 1 月	A4 判	1 枚	—
弥生土器の世界	平成 15 年 5 月	A4 判	4 頁	—
平成 15 年度 朝霞市県展作品展	平成 15 年 7 月	A4 判	4 頁	—
石と遊ぼう!埼玉の岩石と鉱物 空から見よう!荒川と台地	平成 15 年 7 月	A4 判	8 頁	—
みんなあ-ちすと つくる・かざる・みる	平成 15 年 7 月	A6 判	8 頁	—
埼玉の鉄道	平成 15 年 11 月	A4 判	4 頁	—
収蔵品展 鷹と水車	平成 16 年 1 月	A4 判	1 枚	—
石の神さま仏さま	平成 16 年 5 月	A4 判	4 頁	—
平成 16 年度 朝霞市県展作品展	平成 16 年 7 月	A4 判	4 頁	—
埼玉の希少野生植物 —みつめてみよう!みどりのなかまたち— 身近な生き物	平成 16 年 7 月	A4 判	8 頁	—
みんなあ-ちすと —名画に挑戦—	平成 16 年 7 月	A4 判	四つ折	—
遊覧飛行あさかⅢ	平成 16 年 11 月	A4 判	4 頁	—
収蔵品展 朝霞の消防団	平成 17 年 1 月	A4 判	1 枚	—
埼玉の観音札所	平成 17 年 5 月	A4 判	4 頁	—
外来生物 —一人に運ばれた生き物— はじめての標本づくり	平成 17 年 7 月	A4 判	12 頁	—
みんなあ-ちすと —名画に挑戦—	平成 17 年 7 月	A4 判	四つ折	—
平成 17 年度 朝霞市県展作品展	平成 17 年 9 月	A4 判	4 頁	—

黒目川の散策	平成 17 年 12 月	A4 判	4 頁	—
収蔵品展—あったかい道具と昔の暮らし—	平成 18 年 1 月	A4 判	1 枚	—
川越街道を歩く	平成 18 年 5 月	A4 判	4 頁	—
みんなおいでよ 博物館は発見がいっぱい! ※平成 18 年度夏休み期間事業案内	平成 18 年 7 月	A5 判	4 頁	—
つくろう自然のコレクション 荒川の石	平成 18 年 7 月	A4 判	12 頁	—
平成 18 年度 朝霞市県展作品展	平成 18 年 9 月	A4 判	4 頁	—
新河岸川の散策 —新河岸川の舟運の河岸場跡を訪ねて—	平成 18 年 12 月	A4 判	4 頁	—
朝霞市博物館開館 10 周年記念 登録美術品特別公開 モネとドラクロワ	平成 19 年 2 月	A4 判	1 枚	—
古民家探訪	平成 19 年 5 月	A4 判	4 頁	—
みんなおいでよ 博物館は発見がいっぱい! ※平成 19 年度夏休み期間事業案内	平成 19 年 7 月	A5 判	4 頁	—
再発見!身近な木 カブトムシの飼い方	平成 19 年 7 月	A4 判	12 頁	—
平成 19 年度 朝霞市県展作品展	平成 19 年 9 月	A4 判	4 頁	—
越戸川の散策	平成 19 年 12 月	A4 判	4 頁	—
収蔵品展 新聞—報道から記録へ—	平成 20 年 2 月	A4 判	1 枚	—
地域の遺跡を訪ねて —水・川そして人—岡の城山	平成 20 年 5 月	A4 判	4 頁	—
みんなおいでよ 博物館は発見がいっぱい! ※平成 20 年度夏休み期間事業案内	平成 20 年 7 月	A5 判	4 頁	—
黒目川・新河岸川の生き物	平成 20 年 7 月	A4 判	12 頁	—
平成 20 年度 朝霞市県展作品展	平成 20 年 9 月	A4 判	4 頁	—
荒川(旧入間川)の散策	平成 20 年 12 月	A4 判	4 頁	—
野火止用水の散策(都内編) —清流の復活—	平成 21 年 4 月	A4 判	4 頁	—
みんなおいでよ 博物館は発見がいっぱい! ※平成 21 年度夏休み期間事業案内	平成 21 年 7 月	A5 判	4 頁	—
石—地球のかげら—	平成 21 年 7 月	A4 判	12 頁	—
平成 21 年度 朝霞市県展作品展	平成 21 年 9 月	A4 判	4 頁	—
地域の遺跡を訪ねて II —水・川そして人—泉水山遺跡	平成 21 年 12 月	A4 判	4 頁	—
丸沼芸術の森 25 周年記念 —所蔵コレクション展—	平成 22 年 2 月	A4 判	1 枚	—
野火止用水の散策	平成 22 年 5 月	A4 判	4 頁	—
みんなおいでよ 博物館は発見がいっぱい! ※平成 22 年度夏休み期間事業案内	平成 22 年 7 月	A5 判	4 頁	—
身近な生き物さがし	平成 22 年 7 月	A4 判	12 頁	—
平成 22 年度 朝霞市県展作品展	平成 22 年 9 月	A4 判	4 頁	—
重要文化財旧高橋家住宅 保存修理の記録	平成 22 年 12 月	A4 判	4 頁	—
遊覧飛行あさか IV —朝霞町を空からみると—	平成 23 年 4 月	A4 判	4 頁	—
博物館は発見がいっぱい! ※平成 23 年度夏休み期間事業案内	平成 23 年 7 月	A5 判	4 頁	—
色のいろいろ 色の材料な〜んだ?	平成 23 年 7 月	A5 判	8 頁	—
平成 23 年度 朝霞市県展作品展	平成 23 年 9 月	A4 判	4 頁	—
縄文の足跡 西久保・宮山遺跡	平成 24 年 1 月	A4 判	4 頁	—

※パンフレット・リーフレット類の頁数については、表紙・裏表紙を含む。

③教育普及資料

書名	刊行年月	判型	頁数	頒布価格
朝霞市博物館資料利用目録 I	平成 11 年 3 月	A4 判	14 頁	—

朝霞市博物館資料利用目録Ⅱ	平成12年3月	A4判	20頁	—
朝霞市博物館資料利用目録Ⅲ	平成13年3月	A4判	24頁	—
朝霞市博物館活用授業実践事例集Ⅰ	平成14年3月	A4判	47頁	—
朝霞市博物館活用授業実践事例集Ⅱ	平成16年1月	A4判	34頁	—
朝霞市博物館活用授業実践事例集Ⅲ	平成18年3月	A4判	68頁	—
朝霞市博物館活用授業実践事例集Ⅳ	平成20年3月	A4判	68頁	—
朝霞市博物館活用授業実践事例集Ⅴ	平成22年3月	A4判	78頁	—
朝霞市博物館活用授業実践事例集Ⅵ	平成24年3月	A4判	17頁	—

④調査・研究資料

書名	刊行年月	判型	頁数	頒布価格
朝霞市博物館館有資料目録Ⅰ	平成9年10月	A4判	53頁	500円
朝霞市博物館館有資料目録Ⅱ	平成10年3月	A4判	49頁	500円
朝霞市博物館館有資料目録Ⅲ	平成11年3月	A4判	96頁	500円
朝霞市博物館館有資料目録Ⅳ	平成12年3月	A4判	74頁	500円
朝霞市博物館館有資料目録Ⅴ	平成17年3月	A4判	85頁	500円
朝霞市博物館館有資料目録Ⅵ	平成18年3月	A4判	89頁	500円
朝霞市博物館館有資料目録Ⅶ	平成19年3月	A4判	105頁	500円
朝霞市博物館研究紀要第1号	平成10年3月	A4判	31頁	500円
朝霞市博物館研究紀要第2号	平成11年3月	A4判	42頁	500円
朝霞市博物館研究紀要第3号	平成12年3月	A4判	37頁	500円
朝霞市博物館研究紀要第4号	平成13年3月	A4判	51頁	500円
朝霞市博物館研究紀要第5号	平成14年3月	A4判	38頁	500円
朝霞市博物館研究紀要第6号	平成15年3月	A4判	56頁	500円
朝霞市博物館研究紀要第7号	平成16年3月	A4判	49頁	500円
朝霞市博物館研究紀要第8号	平成17年3月	A4判	51頁	500円
朝霞市博物館研究紀要第9号	平成18年3月	A4判	57頁	500円
朝霞市博物館研究紀要第10号	平成19年3月	A4判	57頁	500円
朝霞市博物館研究紀要第11号	平成20年3月	A4判	57頁	500円
朝霞市博物館研究紀要第12号	平成22年3月	A4判	55頁	500円
朝霞市博物館研究紀要第13号	平成24年3月	A4判	59頁	500円
朝霞市博物館調査報告書 第1集 水車・伸銅・にんじん	平成13年3月	A4判	83頁	500円
朝霞市博物館調査報告書 第2集 厚川家所蔵銭貨調査報告書	平成14年3月	A4判	56頁	500円
朝霞市博物館調査報告書 第3集 中世資料集成1 板碑編	平成15年3月	A4判	28頁	500円
朝霞市博物館調査報告書 第4集 中世資料集成2 遺跡・石塔編	平成16年3月	A4判	46頁	500円
朝霞市博物館調査報告書 第5集 館有史料概要目録(相沢家文書)	平成20年3月	A4判	38頁	500円

⑤その他

書名	刊行年月	判型	頁数	頒布価格
朝霞市博物館総合案内	平成9年3月	A4判	50頁	1,000円
朝霞市博物館要覧 第1号 平成8・9年度	平成11年2月	A4判	28頁	—
朝霞市博物館要覧 第2号 平成10・11年度	平成12年10月	A4判	33頁	—
朝霞市博物館要覧 第3号 平成12・13年度	平成14年9月	A4判	39頁	—
朝霞市博物館要覧 第4号 平成14・15年度	平成17年3月	A4判	40頁	—
朝霞市博物館要覧 第5号 平成16・17年度	平成19年3月	A4判	40頁	—
朝霞市博物館要覧 第6号 平成18・19年度	平成21年3月	A4判	42頁	—
朝霞市博物館要覧 第7号 平成20・21年度	平成23年3月	A4判	44頁	—

8. 資料

(1) 朝霞市博物館資料収集方針

(平成11年9月1日)

当館は、資料の収集に関してテーマを設定する。資料の収集は「博物館」としての固有の使命ではあるが、更に入館者数の維持・増大を図るため、コレクションの独自性並びに他館との差別化は必要である。この目的を恒常的に達成するために明確なテーマを定めるものである。

収集の対象分野としては、人文系博物館として考古、歴史、民俗、美術・工芸等の資料収集を原則とするが、これのみに限定されることなく必要に応じて自然史系資料などの収集を行う。

また、収集する資料は一次的資料（直接資料）を原則とするが、展示活用の観点から模型・模造・複製といった二次資料（間接資料）も収集の対象としていく。

展示の充実及び当館収蔵コレクションの充実を図り、入館者数の維持・増大という目的を達成するため、具体的には以下のテーマに基づいて資料の収集を行う。

1. 銅に関連する資料

朝霞市は、江戸時代以来、伸銅工業の栄えた地域として知られている。

当館には、寄贈を受けた伸銅工業関連資料が多数あり、伸銅関係の展示も重視しているが、民俗資料が中心であり展示の展開の幅にも限界がある。

そこで伸銅工業関連資料だけでなく、また民俗資料に限定されることなく、銅に関連した資料を収集し、様々な角度から銅に関する展示を展開する。

2. 水車に関連する資料

伸銅を行う過程で水車は必要不可欠な道具であった。また、伸銅工業だけでなく市内には古来より「川」が流れており、その「川」を生活の糧としていた人々も多いた。

そこで「川」と「人々」を結びつける道具の一つである水車に焦点をあてその資料の収集を図り、かつ展示に活用していく。

3. 鷹に関連する資料

江戸時代、現在の朝霞市域の一部は将軍家・尾張徳川家の鷹場であり鷹狩によって、生活に影響を受けた人々が存在した。

そこで鷹場あるいは鷹狩に関する充実した展示ができるように、鷹に関する資料を収集していく。

4. その他の資料

資料の収集に際して、効率的に目的を達成するためには上記のようにテーマを設定することが必要だが、市立の博物館としてはこれのみに限定されるべきではない。そこで朝霞市及び周辺地域に関する資料でかつ当館にとって必要な資料がある場合については、テーマに関わらずこれを収集していくように努める。

(2) 朝霞市博物館資料評価委員及び資料評価会議開催に関する要項

(趣旨)

第1条 この要項は、博物館資料の購入における、朝霞市博物館資料評価委員（以下「委員」という。）及び資料評価会議（以下「会議」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(委員の職務)

第2条 委員は、博物館資料の購入に際して、資料の真偽の鑑定、学問的評価、価格の査定等（以下「資料の評価」という。）を行う。

(委員の委嘱)

第3条 委員は、次に掲げる者を、教育長がこれを委嘱する。

- (1) 考古分野学識経験者 2人以上
- (2) 歴史分野学識経験者 2人以上
- (3) 民俗分野学識経験者 2人以上
- (4) 美術・工芸分野学識経験者 2人以上

2 前項の規定にかかわらず、資料の評価に際して必要と認めるときは、他の分野の学識経験者を委員に委嘱することができる。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会議)

第5条 会議は、第3条第1項各号に定める委員のうちから、資料の評価に際して必要と認める分野の委員を招集して行う。

2 招集する委員の人数は、資料1点の価格に応じて次のとおりとする。ただし、資料1点の価格が100万円以下の場合、委員の招集を要しない。

- (1) 100万円超300万円以下 3人以上
- (2) 300万円超500万円以下 3人以上
- (3) 500万円超1000万円以下 5人以上
- (4) 1000万円超 5人以上

3 前項ただし書きの規定にかかわらず、資料の評価について疑義あるときは、

価格にかかわらず会議を開催することができる。

(資料の評価)

第6条 資料の評価は、委員の会議にて行う。
2 資料の評価に際し、緊急を要し会議を開催することができない場合は、資料を持ちまわり、構成委員の意見を聴取することによって会議開催にかえることができる。

(資料の購入)

第7条 資料の購入は、前条第2項に定める場合を除き、会議において委員の過半数の同意を得て購入するものとする。

附 則

この要項は、平成11年9月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成22年6月1日から施行する。

※平成25年1月15日で廃止

別紙

購入候補資料調査			
分野	調書作成年月日	年 月 日	
資料名称	員 数		
所在地			
所有者	住所 〒 氏名 TEL		
寸法・重量			
形状・材質			
時代・時期	製作者		
指定の有無	無・有 ()		
売却希望額	円 (税込)	評価価格(案)	円 (税込)
考 察	以上のことから、資料の購入は (適切 ・ 不適切) であると認めます。		
備 考			
評価委員	担当学芸員		

(3) 朝霞市博物館学芸員実習生受入実施要項

(実習生の資格)

第1条 学芸員実習生(以下「実習生」という。)は、原則として大学、短期大学等において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を履修している者のうちから選考する。

(受入人数)

第2条 実習生の受入人数は、原則として10人以内とする。

(優遇措置)

第3条 第1条に規定する選考を行うに当たっては、次のいずれかに該当する者に限り、優先して選考するものとする。この場合において、東洋大学以外の他の大学については原則として、1大学につき2人を上限とすることができる。

- (1) 朝霞市並びに和光市、志木市、新座市に在住又は在学する者
- (2) 朝霞市に校舎のある東洋大学に在学する者

(申込及び受付)

第4条 申込書は、毎年1月から配布することとし、文書で各大学宛に通知する。

2 申込書及びその他の必要書類は、履修希望者本人の来館時にのみ配布する。

3 申込書の受付は、毎年2月から5月末までとし、必要書類を履修希望者本人が持参の上提出しなければならない。

(受入の可否)

第5条 受入の可否については、申込書の受付終了後、20日以内に決定し、文書で各大学等宛に通知する。

(実習期間)

第6条 実習期間は、毎年度7月から8月までのうち2週間程度実施する。

2 前項の日程の詳細については、毎年度4月以降に決定する。

(実習内容)

第7条 実習内容は、毎年度4月以降に決定する。

2 前項の内容の詳細については、博物館に在職する学芸員の意見を考慮し、これを決定する。

(その他)

第8条 実習期間中における実習生の就職活動等については、各大学と協議の上、他の実習生の妨げにならない範囲で認めるものとする。

附 則

この要項は、平成15年11月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成22年7月1日から施行する。

(4) 朝霞市県展作品展開催要項

(趣旨)

第1条 本作品展は埼玉県美術展覧会（以下「県展」とする）における市内出品者の入選・委嘱・招待作品等を紹介することにより、市民が創作した身近な作品をとおして、芸術作品を楽しみ、自らの創作意欲の高揚を図ることを目的とする。

(名称)

第2条 名称は、テーマ展示 朝霞市県展作品展（以下「作品展」とする。）とする。

(主催)

第3条 主催は朝霞市教育委員会・朝霞市博物館とする。

(協賛)

第4条 朝霞市内で活動し市民が会員となっている芸術団体より申し出があるときは、協議の上、協賛団体とするか否かを決定する。協賛団体と認められた団体については、翌年の「作品展」から協賛団体とする。また、協賛の申し出及び、次年度以降も協賛を継続する場合には、年度ごとに団体の会員名簿を作成し、それを朝霞市博物館へ提出する。

(会期)

第5条 会期については年度ごとに朝霞市博物館が決定する。

(会場)

第6条 会場は朝霞市博物館とする。

(出品種目)

第7条 出品種目については「県展」開催要項に準ずるものとする。

(出品者)

第8条 出品者はその年の「県展」入選・招待者のうち、朝霞市在住・在勤・在学（市内の高等学校・大学・専門学校）者及び、協賛団体会員とする。協賛団体会員については、その年の4月1日付提出の名簿に記載されている会員のみとする。

(出品作品)

第9条 その年の「県展」に出品したものとする。

(搬出・搬入)

第10条 朝霞市博物館が行うが、出品者の都合が悪い場合はこの限りではない。

(展示)

第11条 朝霞市博物館が行い、協賛団体より出る代表者が、展示指導を行う。「作品展」に展示された出品者は、展示作品の位置、配列等に対して異議を申し立てることはできない。

(その他)

第12条 出品作品は努めてこれを保護するが、正常な管理状態のもとにおいて生じた事故（損傷・紛失・盗難・展示による退色等）については、その責任を負わない。出品作品は写真撮影の上、「作品展」のパンフレットに掲載する。

附 則

この要項は平成14年4月1日から施行する。

附 則

この要項は平成21年7月1日から施行する。

(5) 朝霞市博物館条例・朝霞市博物館管理規則

○朝霞市博物館条例

平成8年10月1日

条例第18号

改正 平成24年3月29日

条例第9号

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第2条第1項に規定する博物館として、朝霞市博物館(以下「博物館」という。)を朝霞市岡2丁目7番22号に設置する。

(入館料)

第2条 博物館の入館料は、無料とする。ただし、博物館が期間を定めて特別の企画による資料を展示した場合においては、市長は、入館料の額を定め、これを徴収することができる。

(入館料の免除)

第3条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者については、前条ただし書の入館料を免除することができる。

- (1) 教育課程に基づく学習活動として入館する朝霞市立、志木市立、和光市立又は新座市立の小学校又は中学校の児童又は生徒
- (2) 前号に掲げる者の引率者
- (3) 博物館主催の事業に参加する者
- (4) その他市長が特別の理由があると認める者

(入館料の還付)

第4条 既納の入館料は、還付しない。ただし、朝霞市教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、入館料を還付することができる。

(博物館協議会)

第5条 法第20条第1項の規定に基づき、朝霞市博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(定数)

第6条 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10人とする。

(任命)

第7条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する

(任期)

第8条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第9条 協議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき

は、その職務を代理する。

(会議)

第10条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第11条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

(委任)

第12条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成9年2月12日から施行する。

附 則 (平成24年条例第9号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

○朝霞市博物館管理規則

平成8年10月25日

教育委員会規則第4号

最近改正 平成24年3月29日

教育委員会規則第2号

(趣旨)

第1条 この規則は、朝霞市博物館条例(平成8年朝霞市条例第18号。以下「条例」という。)第12条の規定に基づき、朝霞市博物館(以下「博物館」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)である場合を除く。)
 - (2) 休日の翌日(その日が土曜日、日曜日又は休日である場合を除く。)
 - (3) 1月1日から同月4日まで及び12月27日から同月31日まで
 - (4) 館内整理日(毎月第4金曜日。ただし、その日が休日である場合を除く。)
- 2 前項の規定にかかわらず、朝霞市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要があると認めるときは、臨時に休館日を定め、又は休館日に開館することができる。

(開館時間)

第3条 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(入館料の納付)

第4条 博物館が期間を定めて特別の企画により展示する資料(条例第2条ただし書の規定により、入館料の額を定めたものに限る。)を観覧しようとする者は、入館料を納付し、入館券(様式第1号)の交付を受けなければならない。

(入館料の免除申請)

第5条 条例第3条の規定により入館料の免除を受けようとする者は、朝霞市博物館入館料免除申請書(様式第2号)を市長に提出しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(遵守事項)

第6条 館長は、博物館の入館者の遵守事項を定め、入館者に対して随時必要な指示をすることができる。

(入館の制限)

第7条 館長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 博物館の施設、設備、資料等を破損し、汚損し、又は亡失するおそれのあるとき。
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑となる行為をするおそれのあるとき。
- (3) その他博物館の管理上支障があるとき。

(損害賠償の義務)

第8条 入館者は、故意又は過失により、博物館の施設、設備等に損害を与えたときは、速やかに原状に復し、又は教育委員会が相当と認める額を賠償しなければならない。

- 2 入館者は、資料を破損し、汚損し、又は亡失したときは、教育委員会が相当と認める現品又は代価をもって賠償しなければならない。

(資料の館内特別利用)

第9条 学術上の研究のため資料を館内で特別に利用しようとする者は、朝霞市博物館資料館内特別利用許可申請書(様式第3号)を提出し、館長の許可を受けなければならない。

- 2 前項の許可は、朝霞市博物館資料館内特別利用許可書(様式第4号)を交付して行うものとする。

(資料の館外貸出し)

第10条 他の博物館、図書館、公民館、学校その他館長が相当と認めた者は、資料の館外貸出しを受けることができる。

- 2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、朝霞市博物館資料館外貸出許可申請書(様式第5号)を提出し、館長の許可を受けなければならない。
- 3 前項の許可は、朝霞市博物館資料館外貸出許可書(様式第6号)を交付して行うものとする。

(資料の寄贈及び寄託)

第11条 館長は、資料の寄贈及び寄託を受けることができる。

2 資料を寄贈しようとする者は博物館資料寄贈申請書(様式第7号)を、資料を寄託しようとする者は博物館資料寄託申請書(様式第8号)を館長に提出するものとする。

3 館長は、資料を寄贈した者に対し博物館資料受領証(様式第9号)を、資料を寄託した者に対し博物館資料受託証(様式第10号)を交付するものとする。

4 寄贈を受けた資料は、寄贈者の氏名及び寄贈年月日を記録して、永くその芳志を伝える。

5 資料の寄託は、無償とし、寄託を受けた資料は、博物館所蔵の資料と同様の取扱いをするものとする。ただし、第9条に規定する資料の館内特別利用及び第10条に規定する資料の館外貸出しについては、寄託者の承認を得なければならない。

6 館長は、寄託を受けた資料が通常の管理の下で損傷又は亡失したときは、その責任を負わないものとする。

(資料の借用)

第12条 館長は、博物館の展示又は研究に資する目的で、期間を定め、資料を借用することができる。この場合において、館長は、貸与者に対し博物館資料借用書(様式第11号)を交付するものとする。

2 借用した資料は、博物館所蔵の資料と同様の取扱いをするものとする。

3 借用した資料は、第9条に規定する資料の館内特別利用については、貸与者の承認を得なければならない。

4 借用した資料は、第10条に規定する資料の館外貸出しについては、行わないものとする。

(職員)

第13条 博物館に館長及び学芸員を置く。

2 前項に定めるもののほか、朝霞市教育委員会教育長(以下「教育長」という。)は、その他必要な職員を置くことができる。

(職務権限)

第14条 館長は、上司の命を受け、博物館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

2 学芸員は、上司の命を受け、専門的事務に従事する。

(委任)

第15条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、平成9年2月12日から施行する。

附 則(平成11年教委規則第4号)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則(平成19年教委規則第5号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成21年教委規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成24年教委規則第2号）
この規則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

様式第1号（第4条関係）

入 館 券

朝霞市博物館

入 館 券

年 月 日から
年 月 日まで
円

様式第2号（第5条関係）

**朝霞市博物館
入館料免除申請書**

年 月 日

朝霞市長 様

申請者 住 所
氏 名
電 話

次のとおり入館料の免除を受けたいので申請します。

入 館 年 月 日	年 月 日 午前・午後 時 分から午前・午後 時 分まで
入 館 人 数	人
免除を受けようとする入館料の額	
免 除 の 理 由	条例第3条 第1号・第2号・第3号 第4号() に該当するため。
備 考	

様式第3号（第9条関係）

**朝霞市博物館資料
館内特別利用許可申請書**

朝霞市博物館長 様

次のとおり朝霞市博物館資料の館内特別利用をしたいので申請します。

申請年月日	年 月 日	受付番号		
申 住 所	電 話			
請 氏 名				
者 団体名				
利用目的				
利用資料	資料番号	資 料 名	数 量	備 考
利用区分	閲覧・複写・模造・撮影・その他()			
利用期間	年 月 日()から 年 月 日()まで			
利用責任者				

※ 寄託資料については寄託者の承認書を、借用資料については貸与者の承認書を、著作権者がある資料については著作権者の承認書を添付してください。

様式第4号（第9条関係）

**朝霞市博物館資料
館内特別利用許可書**

次のとおり朝霞市博物館資料の館内特別利用を許可します。

申請年月日	年 月 日	受付番号		
申 住 所	電 話			
請 氏 名				
者 団体名				
利用目的				
利用資料	資料番号	資 料 名	数 量	備 考
利用区分	閲覧・複写・模造・撮影・その他()			
利用期間	年 月 日()から 年 月 日()まで			
許可条件				

※ この許可書は、朝霞市博物館資料館内特別利用の際に提示し、利用期間中携帯してください。
年 月 日

朝霞市博物館長

様式第5号 (第10条関係)

朝霞市博物館資料
館外貸出許可申請書

朝霞市博物館長 様

次のとおり朝霞市博物館資料の館外貸出しを受けたいので申請します。

申請年月日	年	月	日	受付番号	
申請者住所	電話				
申請者氏名					
申請者団体名					
利用目的					
貸出資料	資料番号	資料名	数量	備考	
貸出期間	年 月 日 () から		年 月 日 () まで		
利用場所					
利用方法					
輸送方法					
取扱責任者					

※ 寄託資料については寄託者の承認書を、著作権者がある資料については著作権者の承認書を添付してください。

様式第6号 (第10条関係)

朝霞市博物館資料
館外貸出許可書

次のとおり朝霞市博物館資料の館外貸出しを許可します。

申請年月日	年	月	日	受付番号	
申請者住所	電話				
申請者氏名					
申請者団体名					
利用目的					
貸出資料	資料番号	資料名	数量	備考	
貸出期間	年 月 日 () から		年 月 日 () まで		
利用場所					
利用方法					
輸送方法					
許可条件					

※ この許可書は、朝霞市博物館資料の館外貸出しを受ける際に提示してください。
年 月 日

朝霞市博物館長

様式第7号 (第11条関係)

博物館資料寄贈申請書

年 月 日

朝霞市博物館長 様

申請者住所
氏名
電話

次のとおり博物館資料として寄贈したいので申請します。

資料名	数量	備考

様式第8号 (第11条関係)

博物館資料寄託申請書

年 月 日

朝霞市博物館長 宛

申請者住所
氏名
電話

朝霞市博物館管理規則第11条の規定により、資料を寄託したいので、次のとおり申請します。

寄託期間	年 月 日 () から 年 月 日 () まで			
	寄託期間は、期間満了時までに寄託者から返還の請求がない場合には自動的に更新される。更新後の寄託期間は 年とする。			
寄託資料	資料名	数量	備考	

様式第9号 (第11条関係)

博物館資料受領証

第 号
年 月 日

様

朝霞市博物館長

次のとおり博物館資料として受領しました。

資料名	数量	備考

様式第10号 (第11条関係)

博物館資料受託証

第 号
年 月 日

様

朝霞市博物館長

次のとおり博物館資料として受託しました。

寄託期間	年 月 日 () から 年 月 日 () まで		
	寄託期間は、期間満了時まで寄託者から返還の請求がない場合には自動的に更新される。更新後の寄託期間は 年とする。		
寄託資料	資料名	数量	備考

備考 寄託を受けた資料は、博物館所蔵の資料と同様に取扱いいたしますが、通常の管理の下で損傷又は失したときは、その責めを負わないものとさせていただきます。

様式第11号 (第12条関係)

博物館資料借用書

年 月 日

様

朝霞市博物館長

次のとおり博物館資料として借用しました。

借用期間	年 月 日 () から 年 月 日 () まで		
借用理由			
借用資料	資料名	数量	備考
取扱担当者			

※ この借用書は、博物館資料の返却時に返していただきますので、大切に保管してください。

(6) 利用案内

<開館時間>

午前9時～午後5時

<休館日>

月曜日（祝日・振替休日にあたるときは開館）

第4金曜日（館内整理日）

祝日の翌日（ただし、その日が土曜日・日曜日にあたるときは開館）

年末年始（12月27日～1月4日）

その他館内消毒等のため臨時休館することがあります。

<入館料>

無料（ただし、企画展等の場合には有料の場合もあります。）

<交通案内>

JR 武蔵野線北朝霞駅・東武東上線朝霞台駅から約1km、徒歩約15分

または市内循環バスで、博物館前バス停下車徒歩1分、朝霞市斎場バス停下車徒歩5分

<お問い合わせ>

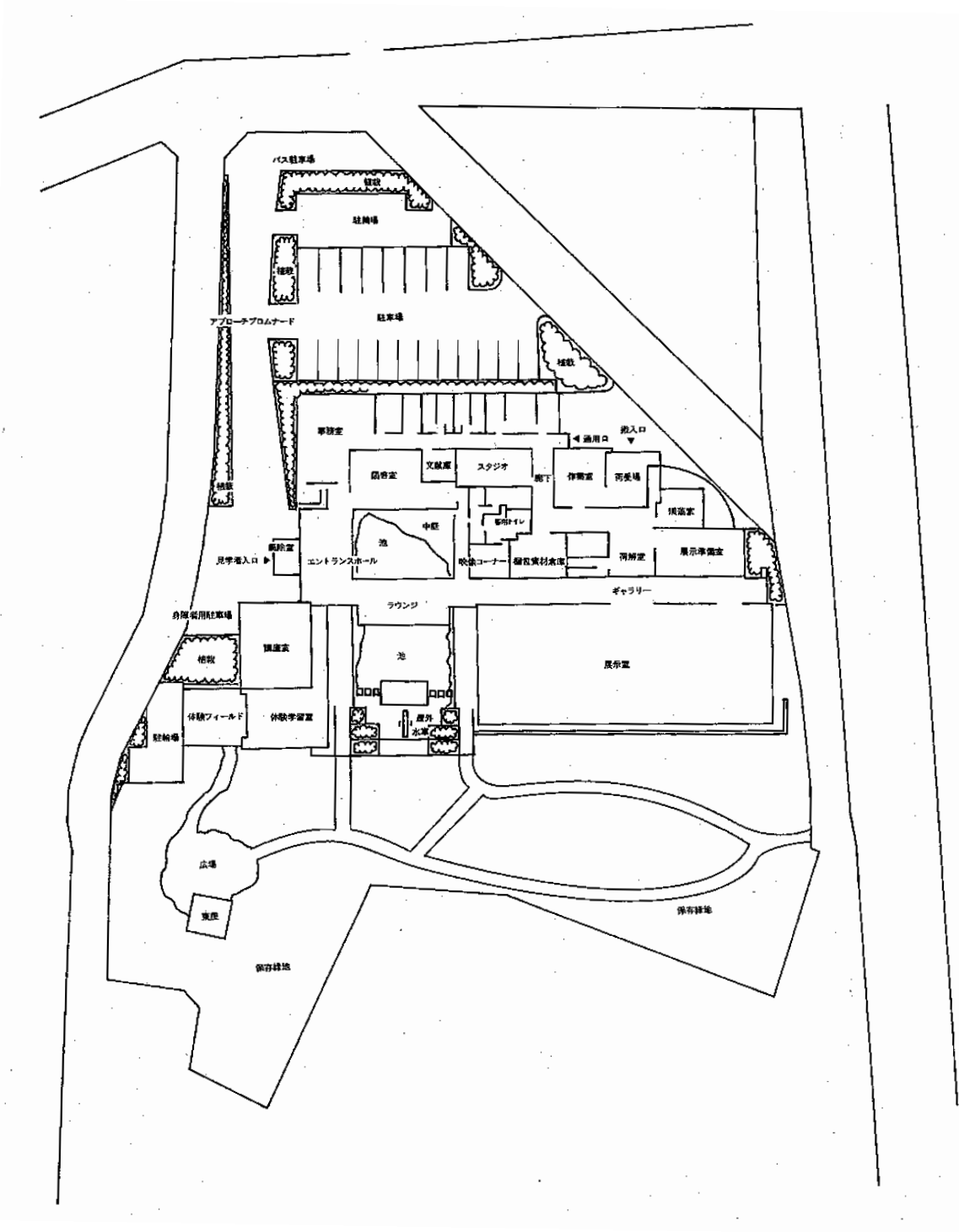
〒351-0007 埼玉県朝霞市岡2丁目7番22号

TEL048-469-2285 FAX048-468-0079

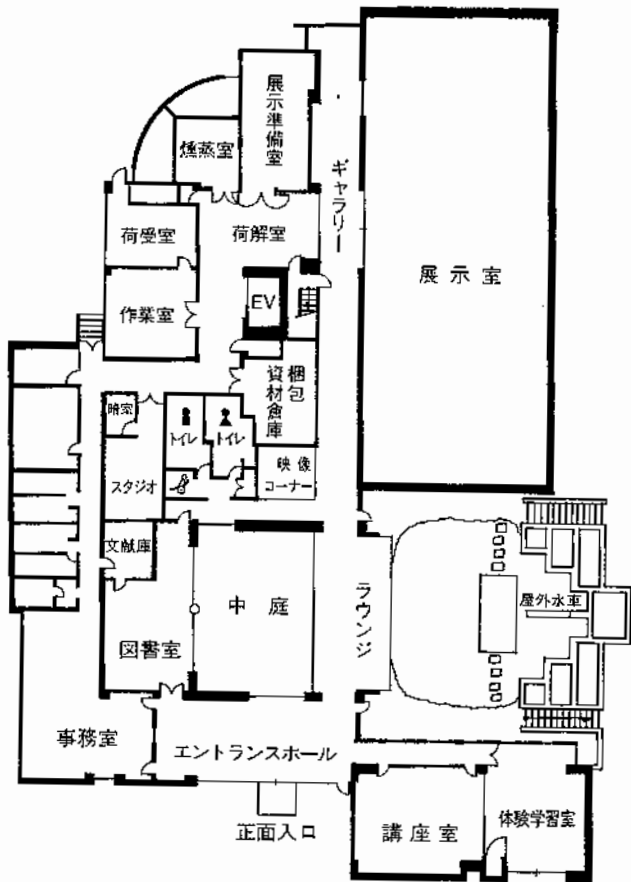
E-mail : bunkazai@city.asaka.saitama.jp



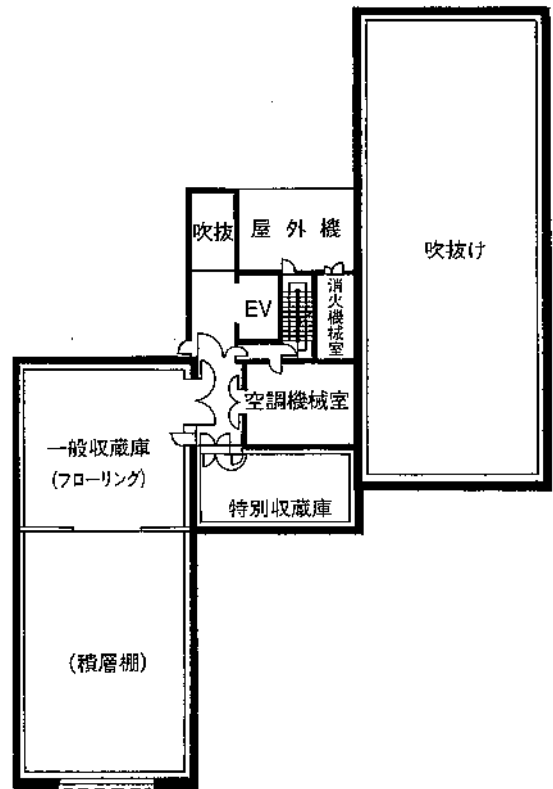
(7) 博物館全体図



(8) 博物館平面図



1階平面図



2階平面図

施設概要

敷地面積 6,406 m²
 建築面積 1,729 m²
 延床面積 2,500 m²
 構造規模 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、地上2階建

主な部屋面積

●展示室	452 m ²	●ギャラリー	126 m ²	●講座室	74 m ²
●体験学習室	74 m ²	●図書室	63 m ²	●映像コーナー	44 m ²
●ラウンジ	56 m ²	●エントランスホール	87 m ²	●一般収蔵庫	537 m ²
●特別収蔵庫	71 m ²	●スタジオ・暗室	44 m ²	●事務室	96 m ²

駐車場 22台
 駐輪場 94台

朝霞市博物館要覧第 8 号

平成 25 年 3 月 31 日発行

発 行 朝霞市博物館
〒351-0007 朝霞市岡 2-7-22
Tel.048-469-2285

